



MICOMSOFT

ビデオ・スキャンコンバーター・ユニット

XVGA-1PRO

VIDEO SCAN CONVERTER UNIT

取扱説明書

この度は「XVGA-1PRO」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
商品を正しくご利用いただくために、まずこの説明書をよくお読みください。

はじめに

XVGA-1PROは、IBM PC/AT互換機（以下DOS/Vパソコンと言います）をはじめ、NEC PC-98シリーズ、Apple PowerMacintoshの画面出力を、ご家庭のテレビで見ることができるように変換する装置です。

大画面テレビや、プロジェクターに接続して、パソコンを利用したプレゼンテーションなどにご利用いただけます。

また、XVGA-1PROは、ハイビジョン・テレビやVGA対応テレビに接続し、鮮明な画像を得ることも可能です。

もちろん、NTSC映像は家庭用のビデオデッキで録画が可能です。

目次

はじめに	2
目次	2~3
パッケージ内容	4~5
使用上のご注意	6~8
外観・各部の名称	9
接続端子の解説	10~14
■入力	10
■出力	11~13
■その他の端子	14
本体のボタンのはたらき	15~16
■XVGA-1PRO本体ボタンのはたらき	15~16
リモコンのボタンのはたらき	17~19
■リモコンのボタン配置	17
■各リモコン・ボタンの機能	18~19
リモコンに乾電池を挿入する	20~21
リモコンの操作上の制限	22~23
接続方法	24~25
■接続する前に	24
各社DOS/Vパソコンとの接続	26~28
●DOS/Vパソコン接続時の対応画面	26
●接続できない機種と注意事項	26
●デスクトップ型との接続例	27
●ノート型との接続例	28
NEC PC-9800・PC-98NXシリーズとの接続	29~33
●PC-9800・PC-98NXシリーズ接続時の対応画面モード	29
●各機種との接続	29
●接続できない機種と対応できない画面モード	29
●デスクトップ型のPC-98NX、PC-9821(後期)との接続例	30
●デスクトップ型のPC-9801、PC-9821(前期)との接続例	31
●ノート型のPC-98NX、PC-9821Nr、Nw、Ls、La13との接続例	31
●ノート型のPC-98NX LB、及びVA20Cとの接続例	32
●「CRT接続ケーブル」が必要なノート型との接続例	32
●「CRTバック」が必要なノート型との接続例	33
Apple PowerMacintoshとの接続	34~38
●Apple PowerMacintoshシリーズ接続時の対応画面	34

●対応機種と接続	34
●接続できない機種	34
●旧Macintoshや旧型のビデオカードに関して	35
●Macintosh用変換アダプターの設定	35
●旧型の機種を接続して画面が緑色になった時	35
●PowerMacintosh G3、G4との接続例	36
●PowerMacintosh 6000、7000、8000、9000との接続例	37
●PowerBook G3、2400、3400シリーズとの接続例	37
●PowerBook 5300シリーズとの接続例	38
●PowerBook Duo2300との接続について	38
●PowerBookのミラーリング機能について	38
テレビとの接続(端子別)	39~46
■テレビの種類	39
■ビデオ入力端子やSビデオ入力端子付きテレビとの接続	40~41
■D入力端子を持つテレビとの接続	42~43
■コンポーネント・ビデオ/HD入力端子を持つテレビとの接続	44~45
■パソコン対応テレビ(VGA端子付きテレビ)との接続	46
テレビの種類を選択する	47
電源を入れる(ACアダプターの接続方法など)	47
スクリーン・メニュー	48~63
■スクリーン・メニューの操作方法	48~51
●スクリーン・メニューを表示する	49
●項目の選択方法について	49
●調整方法について	50
●調整した内容を有効にする	50
●調整した内容を記憶させる	50
●ズーム機能使用中のメニュー表示について	51
●調整した内容を初期化したい	51
■MATCH(マッチ)機能が画面調整を行う	52
■MATCHの調整手順	53
■スクリーン・メニューの機能解説	54~63
●メイン・メニュー	54~55
●ズーム・メニュー	56
●サブ・メニュー	57~60
●A/Dセット・メニュー	60
●「MANUAL」機能の設定方法	61
●マニュアル・メニュー(MANUAL)	62~63
画面のズーム表示(拡大)機能を使ってみる	64
■画面を拡大表示する	64
●ズーム・モードを使用する	64
●特定の場所を直感的に拡大表示したい時には	64
いつも拡大表示する位置を記憶させる	65
●リモコンのホームボタン(ホームA、B、C)の登録方法	65
ワイドテレビで画面比率を変更する	66
画面を静止(ポーズ)させる	66
リモコン受光ユニットの使い方	67~68
●リモコン受光ユニットの取り付け方法	68
仕様	69~71
特殊なボタン操作	71
トラブル対処法のもくじ	72
トラブルの対処法	73~79

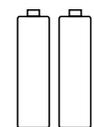
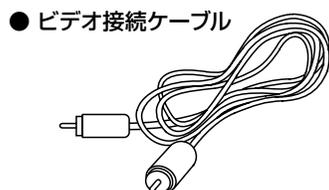
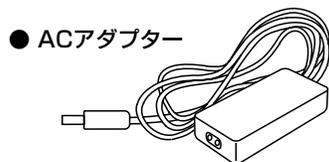
"Macintosh"はApple Computer社の登録商標です。

パッケージ内容

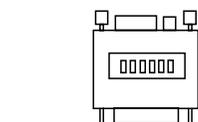
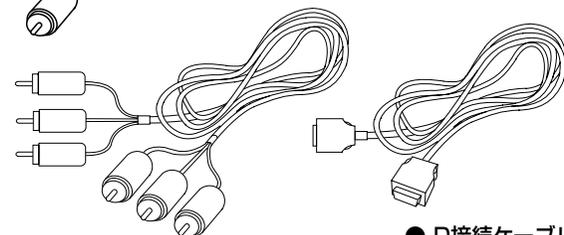
本製品のパッケージには、以下のものが同梱されております。ご確認ください。



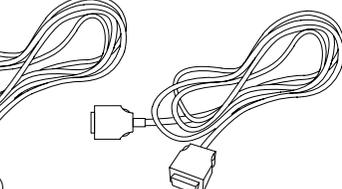
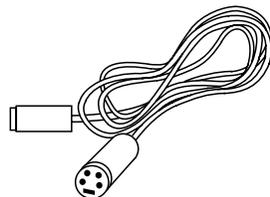
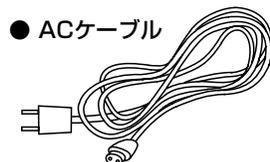
- 取扱説明書(本書)
- 保証書
- ユーザーズ・カード(ハガキ)



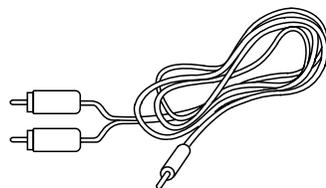
- 乾電池
(単4型・2個)



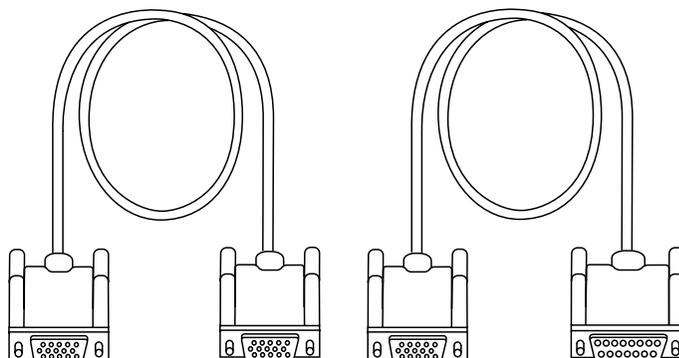
- Macintosh用変換アダプタ



- D接続ケーブル

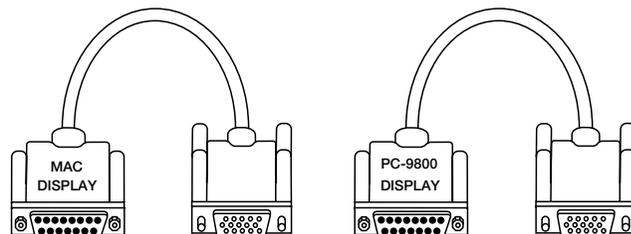


- 音声接続ケーブル



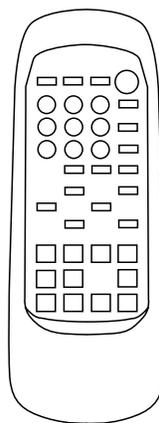
- DOS/V用RGBケーブル

- PC-9800用RGBケーブル

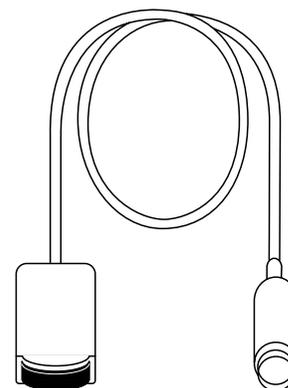


- Macintosh用スルー出力ケーブル

- PC-9800用スルー出力ケーブル



- リモコン



- リモコン受光ユニット

お手数ですが、ユーザーズ・カードは必要事項をお書きのうえ、ポストに投函してください。後のユーザー・サポート、製品の参考などに利用させていただきます。

使用上のご注意

XVGA-1PROは精密な電子機器です。取り扱い時には次のことにご注意ください。

●使用中に、本機や電源アダプターから煙が出たり、変な臭いがする時は、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」までご連絡ください。

そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。

●電源には、必ず本製品に同梱の電源アダプターをご使用ください。市販の電源アダプターや、他の製品に付属している電源アダプターを使用すると、製品が故障するだけでなく、火災などの原因になりますのでご注意ください。

●同梱の電源アダプターをXVGA-1PRO以外の製品に使用しないでください。同梱の電源アダプターはXVGA-1PRO専用です。同梱の電源アダプターをXVGA-1PRO以外の製品に使用された場合、電源アダプターや接続した機器が故障する恐れがあります。

●コネクターの接続などの際にコードを引っ張らないでください。

●高温多湿、衝撃を加えるなどの極端な条件下でのご使用はおやめください。

●本機は、一般家庭や事務所など、室内での使用を前提として設計された民生用の装置です。このため、車両、船舶、航空、屋外、原子炉施設など過酷な条件下で使用された際の動作は保証できません。

●長時間、映像を表示し続けると、テレビ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しないときはテレビの電源やXVGA-1PROの電源アダプターを取り外し、電源を切ることをお奨めします。また、XVGA-1PROの映像出力を明るくしすぎると、同じように焼き付きの原因となることがあります。特にプロジェクション・テレビは映像の焼き付きが起こりやすいのでご注意ください。

●本機を直射日光のあたる所に置かないでください。

●ぬれた手で、本機や電源アダプターを触らないでください。感電する恐れがあります。

●分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造後の保証はいたしません。

●本機をディスプレイやテレビの上、AVラックの中など、熱のこもりやすい場所に置いて使用しないでください。

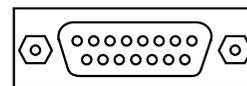
●本機を長時間使用しない時は、電源アダプターをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

●本機を長時間使用すると、本機及び電源アダプターが高温になることがあります。お手を振れる際には十分ご注意ください。

●どうしても本機が正常に動作しなかったり、操作がよく分からない時は、まず当社にご連絡ください。本製品が不良品であったとしても、お客様が当社以外の業者（第三者）などに対して勝手に「製品の調査」や「修理」などを依頼されて費用を請求された場合、当社はその費用を支払うことができません。トラブルを防ぐためにも、本機が正常に動かなかったり、操作がよく分からない時は、まず当社にご連絡いただき担当者の指示に従ってください。

●XVGA-1PROをパソコンのジョイスティック端子（ゲームポート）に接続しないでください。XVGA-1PROに付属しているケーブルの中には、パソコンのジョイスティック端子（ゲームポート）と形状が同じものがあります。間違えて接続しないよう十分ご注意ください。間違えて接続すると、XVGA-1PROやパソコンが故障する恐れがあります。



間違えやすいジョイスティック端子
(ゲームポート)

●XVGA-1PROのリモコン受光ユニット接続端子（IR UNIT）にパソコン用のマウスやキーボードを接続しないでください。リモコン受光ユニットは、パソコンのキーボード端子やマウス端子（PS/2）と形状が同じですので、間違えて接続しないよう十分ご注意ください。間違えて接続すると、XVGA-1PROや接続している機器が故障する恐れがあります。

●本製品に付属している、ケーブルやアダプターを、別の用途に使用しないで下さい。

本来の目的とは異なる用途でご使用になった場合の保証は致しません。

●接続する端子や接続方法を間違えると、本製品や接続した機器が故障することがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。

●この製品を、日本国以外の国（海外）では使用しないでください。日本国以外で使用した際の事故、故障、損害に関しましては、保証できません。

●寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むと、急激な温度変化により、表面に水滴がつくことがあります。水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、火災の原因となります。

使用上のご注意

●もしお客様が、テレビ画面の点滅や激しい色の変化を見ると気分が悪くなるような体質をお持ちの場合は、本機のご使用をご遠慮ください。大画面のテレビでご使用の際は、特に注意が必要です。また、ご使用の際は部屋を明るくし、テレビからできるだけ離れて画面を見てください。

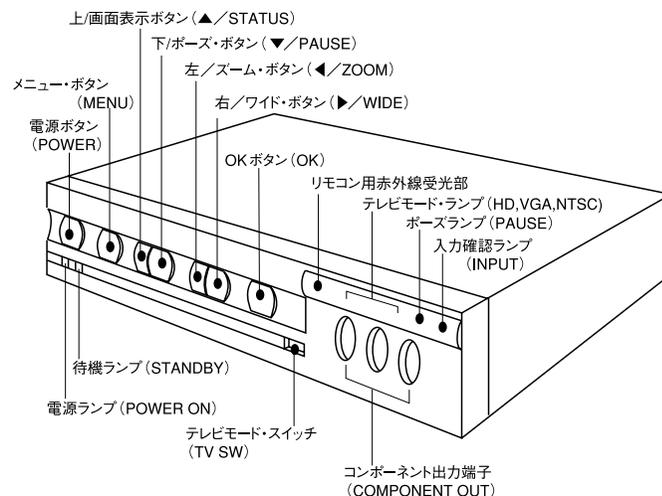
●本機で変換した映像をVTRなどで録画する際、画像や映像に著作権が存在する時は、録画する画像や映像(ソフトウェアも含む)の著作権者(版権元)の理解が必要になることがあります。

●本機で変換した映像をVTRなどで録画し、その映像を販売・複製・貸与・放送・上映する行為は、著作権等を侵害する恐れがありますので注意が必要です。

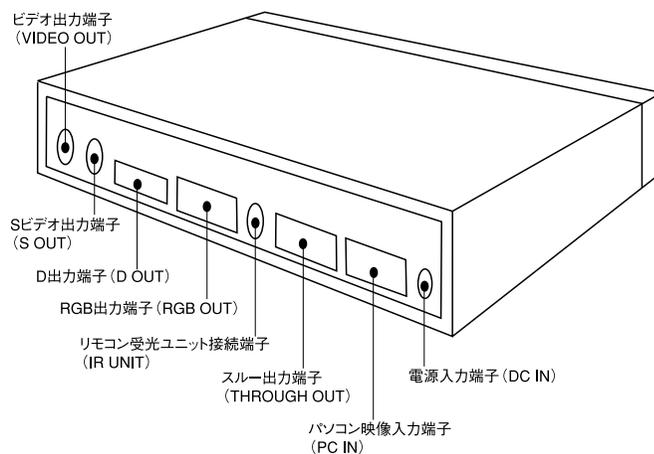
●この取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故、損害にも当社は一切責任を負いません。

外観・各部の名称

本体前面パネル



本体後面パネル



接続端子の解説

■入力

パソコン映像入力端子 (PC IN)

XVGA-1PROのパソコン映像入力端子 (PC IN) には、図1または図2の映像出力端子 (15ピン・アナログRGB) を持つパソコンの映像を入力することができます。

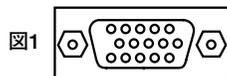


図1 15ピン・アナログRGB端子
(HD-SUB 3段、VGA仕様)

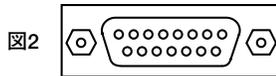
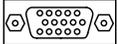
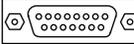


図2 15ピン・アナログRGB端子
(D-SUB 2段、PC-9800仕様)
(DB-15、AppleMacintosh仕様)

各パソコンに使用されている端子の種類

端子形状		
パソコンの機種	15ピン・アナログRGB 15PIN HD-sub (3段)	15ピン・アナログRGB 15PIN D-sub (2段)
各社DOS/Vパソコン	○	
NEC PC-98NX	○	
NEC PC-9821前期		○
NEC PC-9821後期	○	
NEC PC-9801(VX以降)		○
Apple PowerMacintoshG3、G4 PowerBook 2400、3400、G3	○	
Apple PowerMacintosh PowerBook 5300※1 PowerBook Duo 2300※2		○

※1 接続にはPowerBook 5300付属の「ビデオ接続ケーブル」が必要です。

※2 接続にはMinidock、またはDuoDock等が必要です。

■出力

XVGA-1PROは、変換した映像をSビデオ出力端子、ビデオ出力端子、コンポーネント出力端子、D出力端子、RGB出力端子から出力できます。

出力できる映像信号は、テレビの種類に合わせて、XVGA-1PROの前面パネルにある、テレビモード・スイッチ (TV SW) で選択することができます。

スイッチ設定と出力できる映像の対応については、表1をご覧ください。

●TV SWが「NTSC」の時

ビデオ出力端子 (VIDEO OUT) とSビデオ出力端子 (S OUT) からNTSC映像を出力できます。

また、コンポーネント出力端子 (COMPONENT OUT) やD出力端子 (D OUT) からも映像を出力できるため、コンポーネント・ビデオ入力端子やD1の入力端子を持つテレビに、NTSC映像を表示することが可能です。

VGA映像やハイビジョン映像を同時に出力することはできません。

●TV SWが「VGA」の時

RGB出力端子から、VGA映像を出力することができます。

出力される映像信号は、VGA (水平同期周波数31kHz) です。

パソコンの映像入力 (640×480ドットの画面) に対応したテレビなどに接続すると、色にじみのほとんど無い鮮明な映像を表示できます。

Sビデオ映像やビデオ映像、ハイビジョン映像を同時に出力することはできません。

●TV SWが「HD」の時

コンポーネント出力端子とD出力端子から1125iに対応したハイビジョン信号 (HD信号) を出力することができます。

コンポーネント (色差) 方式のHD入力端子や、D3端子を持つハイビジョンテレビで鮮明な映像を表示できます。

Sビデオ映像やビデオ映像、VGA映像を同時に出力することはできません。

表1：映像の同時出力一覧表

映像出力 SW設定	ビデオ 端子	S 端子	コンポーネント端子		D端子		RGB 端子
			コンポーネント ビデオ	ハイビジョン (HD)	D1	D3	VGA
NTSC	○	○	○		○		
VGA							○
HD				○		○	

○=映像出力可

スルー出力端子(THROUGH OUT)

この端子に接続できるのは、それぞれのパソコンに対応した15ピン・アナログRGB端子を持つパソコン用ディスプレイです。

XVGA-1PROのPC入力端子から入力された映像信号を、そのまま出力します。

(接続コネクタ等の接触抵抗により、元映像よりも若干鮮明度が損なわれます)

ビデオ出力端子,Sビデオ出力端子(VIDEO OUT,S OUT)

同梱、またはお手持ちのSビデオ接続ケーブル、ビデオ接続ケーブルを使用し、テレビやビデオデッキなどのSビデオ入力端子(図3の端子)やビデオ入力端子(図4の端子)に接続します。テレビ側にSビデオ入力端子とビデオ入力端子の2種類の端子がある時はSビデオ入力端子に接続した方が鮮明な映像が得られます。

これらの端子を使用する時は、XVGA-1PROの前面パネルにある、テレビモード・スイッチ(TV SW)を「NTSC」に設定してください。

図3



Sビデオ端子

図4



ビデオ端子

RGB出力端子(RGB OUT)

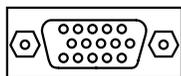
この端子に接続できるのは、15ピン・アナログRGB入力端子付きの家庭用テレビ(パソコン映像入力対応テレビ)や、プロジェクターです。

テレビとの接続には、各テレビメーカーが推奨している、DOS/Vパソコン用の15ピン・アナログRGBケーブル(VGAケーブル)をご使用ください。

この端子からは、VGA(水平同期周波数31kHz)の映像を出力できます。

640×480ドットの画面しか表示できないパソコン対応の家庭用テレビなどで、800×600ドットや1024×768ドットの映像を表示できます。

図5



15ピン・アナログRGB端子
(VGA端子)

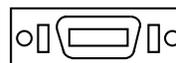
D出力端子(D OUT)

この端子に接続できるテレビは、D端子(D1、D3)を持つ家庭用テレビです。

接続する際は、同梱の「D接続ケーブル」を使用し、テレビのD端子に接続します。

この端子と、コンポーネント出力端子(COMPONENT OUT)を同時に使用することはできません。

図6



D端子

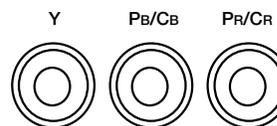
コンポーネント出力端子(COMPONENT OUT)

この端子に接続できるテレビは、HD入力端子(ハイビジョン入力)を持つ家庭用テレビ、またはコンポーネント・ビデオ入力端子付きの家庭用テレビです。

接続する際は、同梱の「コンポーネント接続ケーブル」を使用し、テレビのコンポーネント端子やHD入力端子に接続します。

この端子と、D出力端子(D OUT)を同時に使用することはできません。

図7



コンポーネント端子(HD端子)

参考：Pb/Cb、Pr/Cr端子は、テレビの機種やメーカーによって表記が異なります。
Pb/Cb、Pr/Cr端子はテレビによって、Pb、Prと表記されていることがあります。
テレビ側のCb、Crとしか表記されていない端子には対応できません。

コンポーネント端子とD端子について

コンポーネント端子は、別名「色差端子」とも呼ばれています。
通常Y信号、Pb/Cb信号、Pr/Cr信号の3つの信号から成り、ほとんどノジミの無い鮮明な映像を得ることができます。
コンポーネント端子には、NTSCのコンポーネント・ビデオ信号に対応した物と、ハイビジョン(HD)の信号に対応した物があります。
D端子は端子形状が異なるだけで、映像信号の方式はコンポーネントと同じです。

■その他の端子

リモコン受光ユニット接続端子 (IR UNIT)

この端子には、本製品に同梱の「リモコン受光ユニット」を接続します。

この端子には、XVGA-1PROの電源がスタンバイ状態の時にも電源(5V)が出力されていますので、リモコン受光ユニットの取り付けや取り外しは、ACアダプターをACコンセントから取り外した状態で行なってください。

もし、XVGA-1PROが待機状態の時に接続すると、ショートなどを起こして、XVGA-1PROやリモコン受光ユニットが故障する恐れがあります。接続の際は十分ご注意ください。

この端子の接続方法はP68に詳しく紹介されています。

図8



リモコン受光ユニット接続端子

電源端子 (DC IN)

すべてのケーブルを接続した後、付属のACアダプターのDCプラグをXVGA-1PRO本体の電源入力 (DC IN) に接続し、アダプター側をご家庭のACコンセント(100V)に差し込むと、XVGA-1PROがスタンバイ(待機)状態になります。

この状態で、XVGA-1PROの前面パネルの電源ボタン (POWER) を押せば、XVGA-1PROに電源を入れることができます。

本体のボタンのはたらき

■XVGA-1PRO本体のボタンのはたらき

XVGA-1PRO本体の7つのボタンは以下の機能を持っています。

①電源ボタン (POWER)

XVGA-1PROの電源をオン/オフできます。

電源がオンの時は、緑色の電源ランプ (POWER) が点灯します。

電源がオフの時(待機状態)は赤色の待機ランプ (STANDBY) ランプが点灯します。

②メニュー・ボタン (MENU)

スクリーン・メニューOFF時：

スクリーン・メニューを表示します。

スクリーン・メニューON時：

スクリーン・メニューを終了します。

サブ・メニュー表示中に押すとメイン・メニューに戻ります。

調整画面では、調整をキャンセル(中止)することができます。

③上/画面表示ボタン (▲/STATUS)

スクリーン・メニューOFF時：

画面表示機能を使用できます。パソコンから入力されている画面の情報(画面解像度や同期周波数)を表示します。

スクリーン・メニューON時：

スクリーン・メニューに表示された項目を選択します。カーソルを上方向に移動できます。

④下/ポーズ・ボタン (▼/PAUSE)

スクリーン・メニューOFF時：

画面を静止 (PAUSE) させます。動画を静止させたい時などに使用します。

もう一度押すと、静止 (PAUSE) を解除することができます。

スクリーン・メニューON時：

スクリーン・メニューに表示された項目を選択します。カーソルを下方向に移動できます。

⑤左/ズーム・ボタンボタン(◀/ZOOM)

スクリーン・メニューOFF時:

「左」ボタンを押すと、画面をズーム表示(拡大表示)することができます。

もう一度押すと、ズーム表示(拡大表示)を終了することができます。

スクリーン・メニューON時:

選択された設定を調整・変更できます。

⑥右/ワイド・ボタン(▶/WIDE)

スクリーン・メニューOFF時:

「右」ボタンを押すことで、画面をワイド表示にするか、通常表示にするか、を選択することができます。

スクリーン・メニューON時:

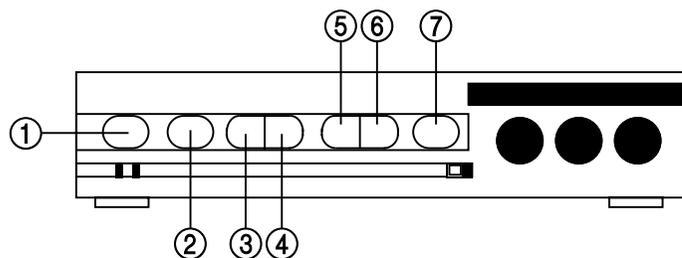
選択された項目を調整・変更できます。

⑦OKボタン(OK)

スクリーン・メニュー使用時にカーソルで選んだ項目を決定して調整画面に移ることができます。

また、調整画面で設定した調整内容を決定することができます。

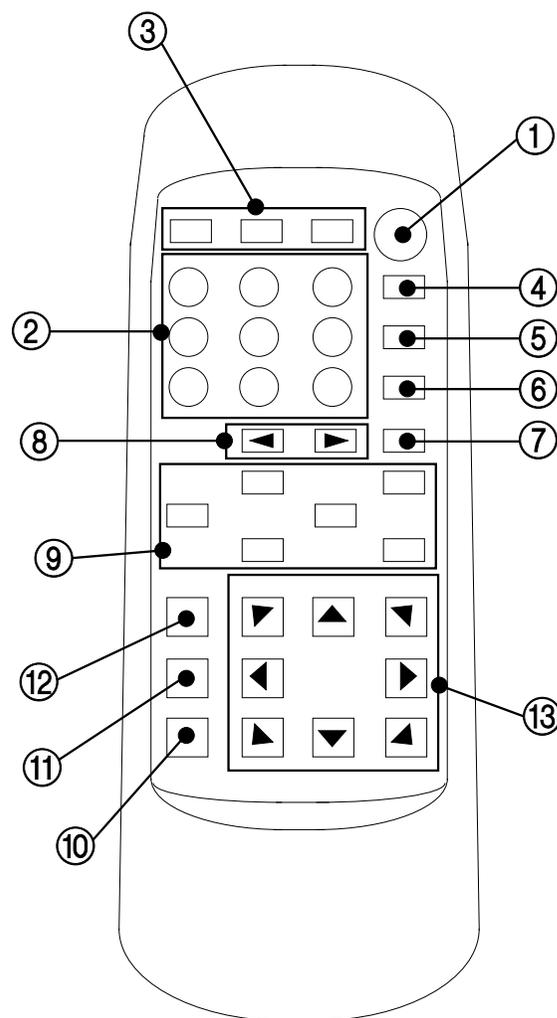
図9: XVGA-1PROのボタン配置



リモコンのボタンのはたらき

同梱のリモコンを使用すれば、XVGA-1PROの機能をより手軽に操作できるようになります。

■リモコンのボタン配置



■各リモコン・ボタンの機能

①「電源」ボタン

本体の電源ボタン(POWER)と同じ機能を持ちます。

②「エリアズーム」ボタン

このボタンを押すことで、それぞれのボタンに割り当てられた場所を、拡大表示することができます。

9つのボタンは、それぞれの画面の位置に対応しています。例えば、左上のボタンを押すと、パソコン画面の左上を拡大表示することができます。

もう一度同じボタンを押すと、拡大表示を終了し、通常の画面表示に戻ることができます。

③「ホームA」～「ホームC」ボタン

これらのボタンを押すと、あらかじめ登録しておいた拡大率と表示位置で画面を拡大表示させることができます。

拡大率と表示位置は、ユーザーが任意に設定できます。

④「ホーム登録」ボタン

スクリーン・メニューの「HOME_GET」と同じ機能を使用することができます。

ズームモード時に、このボタンを押した後、リモコン上部にある「ホームA」～「ホームC」のいずれかのボタンを押すことで、現在のズーム画面の拡大率と表示位置を「ホームA」～「ホームC」ボタンに記憶させることができます。

⑤「ワイド」ボタン

スクリーン・メニューの「WIDE_TV」と同じ機能をこのボタンで操作できます。

このボタンを押すことで、画面の横の比率を変更できます。

⑥「ポーズ」ボタン

変換した映像（テレビに表示されている映像）を、静止して表示させることができます。

⑦「画面表示」ボタン

現在の画面モードのなどの情報を、テレビに表示できます。

⑧「明るさ調整」ボタン

テレビに表示された画面の明るさを調整できます。

「◀」のボタンを押すと暗く、「▶」のボタンを押すと、画面を明るくできます。

⑨スクリーン・メニュー操作ボタン

「▲」「▼」ボタン：

メニューが表示されている時、項目を選択することができます。

「◀」「▶」ボタン：

調整画面で、調整内容を変更することができます。

「メニュー」ボタン：

テレビ画面にスクリーン・メニューを表示できます。

もう一度押すとスクリーン・メニューを終了できます。

「OK」ボタン：

スクリーン・メニューで項目を決定したり、各項目の調整内容を決定することができます。

⑩「ズーム」ボタン

このボタンを押すとズームモード(画面の拡大表示モード)に入ることができます。もう一度押すと、ズームモードを終了できます。

⑪「拡大」ボタン

ズームモード時に、画面を拡大することが出来ます。

⑫「縮小」ボタン

ズームモード時に、画面を縮小することが出来ます。

⑬「表示位置調整」ボタン

画面を矢印の方向に移動させることが出来ます。ボタンを押し続けると、早く画面を移動させることができます。

リモコンに乾電池を挿入する

XVGA-1PROに同梱のリモコンには、ご購入時は乾電池が挿入されていないため、そのままではご使用になれません。

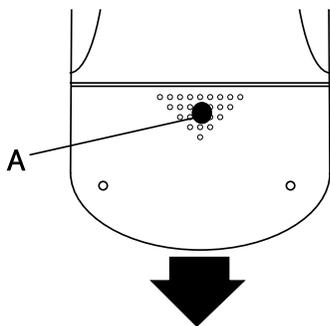
このため、XVGA-1PROに同梱の乾電池(単4)をリモコンに挿入する必要がある。

乾電池は、以下の方法を参考にしてリモコンに挿入してください。

1. 乾電池挿入部のカバー(ふた)を取り外す

リモコン背面下部の「A」の部分を親指で押しながら、矢印の方向にカバーを引きます。

図10



乾電池挿入時の注意事項

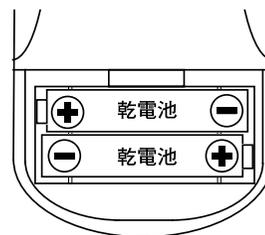
- ・ニッカドなどの充電電池(二次電池)は、危険ですからご使用にならないでください。
- ・乾電池の極性(+、-)は正しく挿入してください。極性を間違えるとたいへん危険です。
- ・電池交換などの際に新旧の乾電池を混在しないでください。

2. 乾電池を挿入する

XVGA-1PROに同梱の乾電池(2本)を、リモコンの電池ボックスに正しく挿入します。

リモコンの乾電池挿入部には乾電池の極性(+、-)が刻印されていますので、乾電池の極性を合わせて挿入します。(乾電池の極性を間違えると危険ですのでご注意ください)

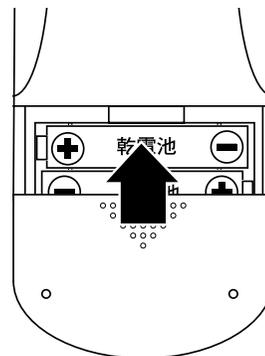
図11



3. 乾電池挿入部のカバーを取り付ける

乾電池を正しく挿入できたら、「1」で外したカバーを取り付けます。

図12



リモコンの操作上の制限

リモコンのご使用には、以下のような制限があります。

- X VGA-1PRO とリモコンの距離が3メートル以上離れると正常に動作しないことがあります。
- リモコンの赤外線受光部を中心として、上下左右30°以上の角度から操作した際、正常に動作しないことがあります。
- 直射日光の当たるところでは正常に動作しないことがあります。

図13

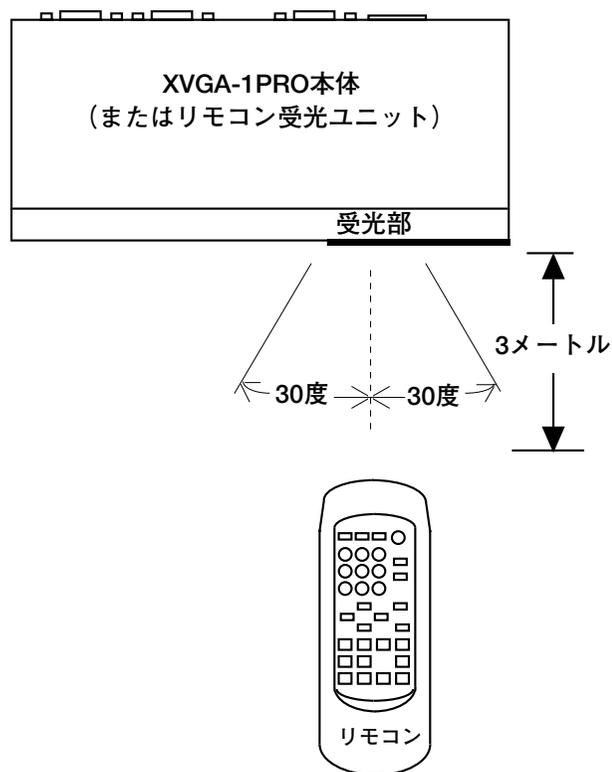
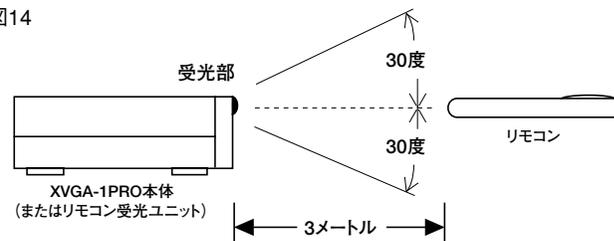


図14



リモコン使用時の注意事項

- ・リモコンは精密機器です。落としたり衝撃を加えたりすると、故障や破損する恐れがあります。
- ・リモコンを濡らしたり、濡れた手で触らないで下さい。ショートや感電の原因となります。
- ・リモコンを長期間使用して、ボタンを押しても反応が無くなるなど、動作が不安定になった時は、乾電池を新しい物と交換してみてください。

接続方法

■接続する前に

ケーブルなどを接続する際は、接続するすべての機器の電源を「切る(オフ)」にしてください。特にXVGA-1PROは、電源スイッチが「切る」の状態でも、ACアダプターを接続していると、内部回路に若干の電流が流れていますので、必ずACコンセントから電源アダプターを取り外してから接続してください。特に、「リモコン受光ユニット」を取り付ける際はご注意ください。

●接続や対応に関しては、表2、表3に書かれている各機種種のページを参照してください。

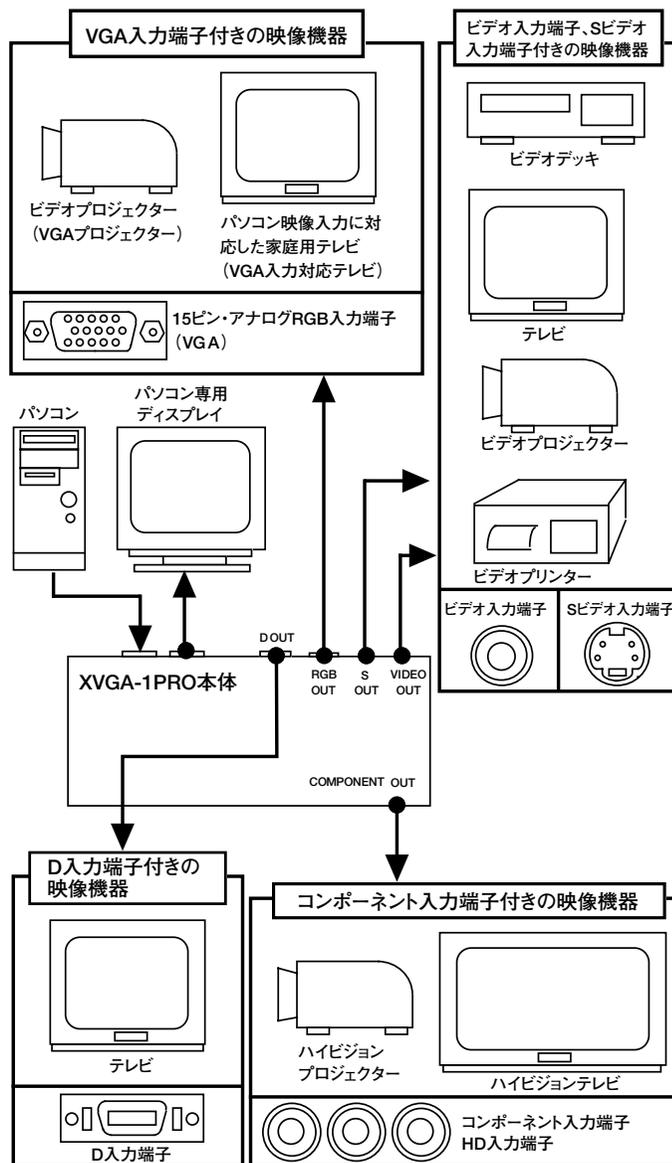
表2：各パソコンとの接続方法

メーカー	対応機種	詳細
各社	各社DOS/Vパソコン(AT互換機)	P26～
NEC	PC-98NXシリーズ	P29～
	PC-9800,9821シリーズ	
Apple	PowerMacintosh	P34～

表3：テレビとの接続方法

テレビの種類	詳細
ビデオ端子、Sビデオ端子付きテレビとの接続	P40～
D端子付きテレビとの接続	P42～
コンポーネント端子付きテレビとの接続 (HD入力端子、コンポーネント・ビデオ入力端子付きテレビなど)	P44～
パソコン映像入力(VGA入力)対応テレビとの接続	P46～

映像信号の流れ



各社DOS/Vパソコンとの接続

ここでは、DOS/Vパソコン(AT互換機)との接続方法や対応をご紹介します。

●DOS/Vパソコン接続時の対応画面

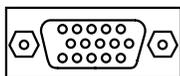
XVGA-1PROは、DOS/Vパソコンに接続した際、以下の画面モードに対応できます。

画面モード	水平同期(垂直同期)
640×400ドット	31kHz(70Hz)
640×480ドット	31kHz(60Hz)/37kHz(72Hz)
800×600ドット	35kHz(56Hz)/37kHz(60Hz)/48kHz(72Hz)/46kHz(75Hz)
1024×768ドット	48kHz(60Hz)/56kHz(70Hz)/60kHz(75Hz)

●接続できない機種と注意事項

- ・図15の15ピン・アナログRGB出力端子を持たない機種には接続できません。
ディスプレイ一体型のパソコンなどでは、アナログRGB出力端子を持たない機種がありますので特にご注意ください。
- ・デジタル液晶用の映像端子(DVI端子やDFP端子)には接続できません。
- ・ノートパソコンなどで、図15の端子が無い時は、ポートバーや変換ケーブル等を別途用意する必要があります。

図15



15ピン・アナログRGB端子
(HD-SUB 3段, VGA仕様)

接続端子に関する注意事項

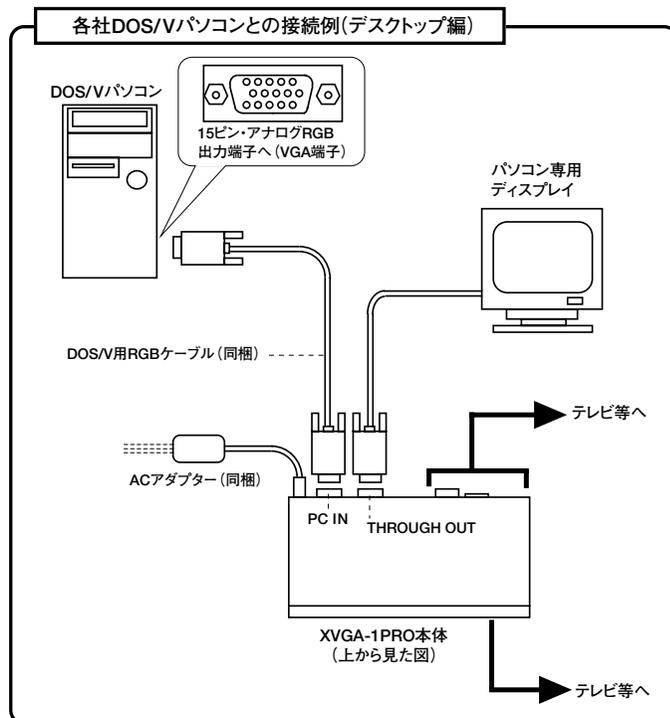
本機に付属している15ピン・アナログRGBケーブルの中には、ジョイスティック端子(ゲームポート)と形状が全く同じものもありますが、このケーブルを間違えてジョイスティック端子に接続しないようご注意ください。

間違えて接続すると、本機やパソコンが故障する恐れがあります。

●デスクトップ型との接続例

デスクトップ型のDOS/Vパソコンは以下のように接続します。
テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図16



デジタル方式の液晶ディスプレイをご使用のお客様へ

デジタル液晶用の映像端子(DFPやDVI)と15ピン・アナログRGB端子の両方を持つパソコンの中には、これらの端子を同時に使用できない機種があります(FM/V Cシリーズなど)。このような機種では、デジタル液晶ディスプレイと、テレビと同じ映像を表示することができません。

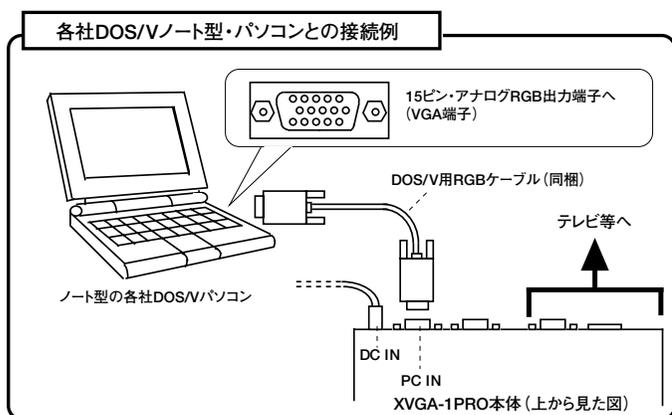
もし、このような機種でパソコン用ディスプレイとテレビ画面の映像を同時に見たい時は、アナログ方式の液晶ディスプレイをご使用いただくか、通常のブラウン管タイプのアナログRGBディスプレイが必要となります。

また、XVGA-1PROはデジタル液晶用のDFP端子やDVI端子には接続できません。

●ノート型との接続例

ノート型のDOS/Vパソコンは以下のように接続します。
テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図17



ノート型パソコンで、テレビに画面を表示できない時

ノート型パソコンの多くは、接続だけでは映像を表示できません。

これは、ノート型パソコンが映像出力端子から映像を出力していないためです。

接続が終わったら、映像を外部ディスプレイ(ここではXVG A-1PROのこと)に出力できるように、パソコン側の設定を変更してください。

設定の変更方法は、キーボードの複数のキーを同時に押す、もしくはWindowsの「画面のプロパティ」から変更するなど、機種によって異なりますので、各パソコンの取扱説明書を参照してください。

ノート型パソコンに映像出力端子が無い時

パソコン専用ディスプレイを接続できる端子(図15の端子)が、パソコン側に無い時は、別売のアダプター(ポートリプリケーターなど)や、変換ケーブルなどが必要になることがあります。詳しくは、各パソコンのメーカーにお問い合わせいただき、パソコン専用ディスプレイを接続できるアダプターやケーブルがあるか、お訪ね下さい。アダプターやケーブルは、機種ごとに異なるため、当社に型番などをお問い合わせいただいても、お答えできないことがあります。

NEC PC-9800・PC-98NXシリーズとの接続

ここでは、NEC社パソコンNEC PC-9801、9821及びPC-98NXシリーズとの接続方法や対応が紹介されています。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

●PC-9800・PC-98NXシリーズ接続時の対応画面モード

XVG A-1PROは、NEC PC-9800・PC-98NXシリーズに接続した際、以下の画面モードに対応できます。

画面モード	水平同期(垂直同期)
640×400ドット	24kHz(56Hz)/31kHz(70Hz)
640×480ドット	31kHz(60Hz)/37kHz(72Hz)
800×600ドット	35kHz(56Hz)/37kHz(60Hz)/48kHz(72Hz)/46kHz(75Hz)
1024×768ドット	48kHz(60Hz)/56kHz(70Hz)/60kHz(75Hz)

●各機種との接続

各機種との接続は、それぞれのページをご覧ください。

	対応機種	ページ
デスクトップ	PC-98NXシリーズ、PC-9821(図16の端子)	P30～
	PC-9801シリーズ(UV、VM以降) PC-9821(図17の端子)	P31～
	PC-98NXシリーズ PC-9821Nr、Nw、Ls、La13	P31～
ノート型	PC-98NX LB、VA20C	P32～
	CRT接続ケーブルが必要な機種 PC-9821全般、PC-9801NS/L、NS/A、NL/A	P32～
	CRTバックが必要な機種 PC-9801NS/E、NS/T、NC、NS/R、NX、NX/C、NA、NA/C	P33～

●接続時できない機種と対応できない画面モード

●図16または図17のアナログRGB出力端子を持たない機種には接続できません。

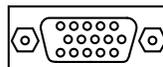
以下の機種はアナログRGB出力端子を持たないため接続できません。

- ・PC-98FineNXシリーズ(FN23C、FN20C)
- ・PC-9821 V10/C4R、V7/C4K、Cu10
Fineシリーズ(F200、F166)、Ts、Cbシリーズなど
- ・PC-9801 NV、NL、NL/R、PC-9801CVなど
- ・PC-9801、U、M、Fなど、デジタルRGB出力しか持たない機種

●インターレース方式の画面モードには対応できません。

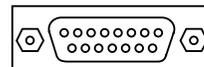
●デジタル液晶ディスプレイ用のDFP端子やDVI端子には接続できません。

図16



15ピン・アナログRGB端子
(HD-SUB 3段、VGA仕様)

図17



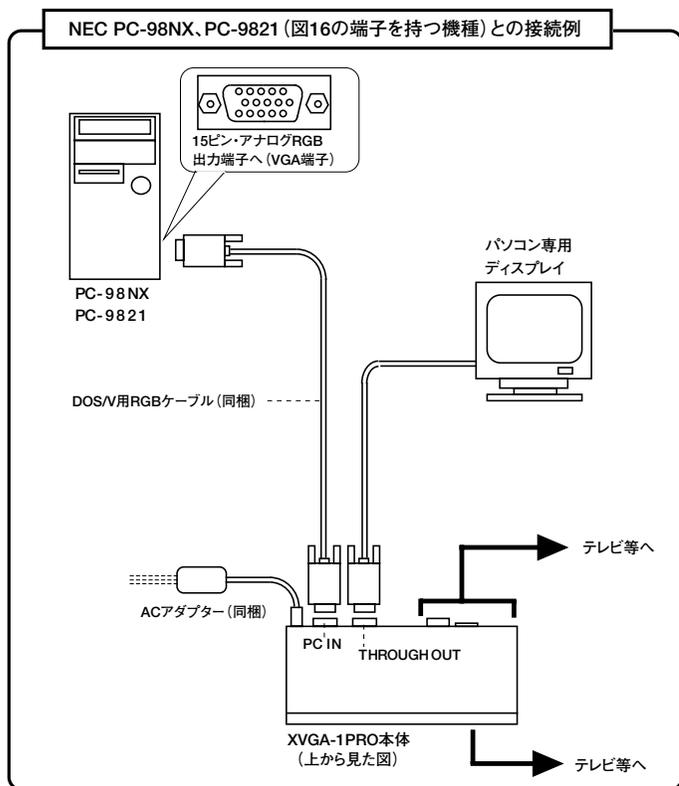
15ピン・アナログRGB端子
(D-SUB 2段、PC-9800仕様)

●デスクトップ型のPC-98NX、PC-9821（後期）との接続例

PC-98NXシリーズや、図16の映像出力端子を持つPC-9821シリーズは、以下のように接続します。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図18



接続端子に関する注意事項

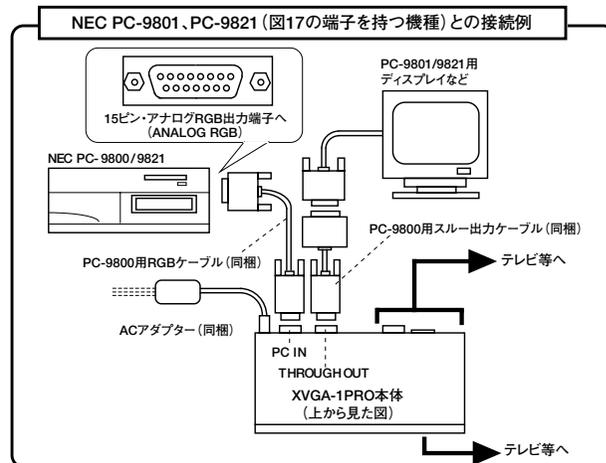
図17の15ピン・アナログRGB端子は、ジョイスティック端子（ゲームポート）と形状が全く同じなので、本機を間違えて接続しないように注意してください。ジョイスティック端子には5V程度の電源が出力されており、間違えて接続すると、本機やパソコンが故障する恐れがあります。

●デスクトップ型のPC-9801、PC-9821（前期）との接続例

PC-9801シリーズ（UV、VM以降）や旧型のPC-9821シリーズで、図17の映像出力端子を持つデスクトップ型の機種では、以下のように接続します。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

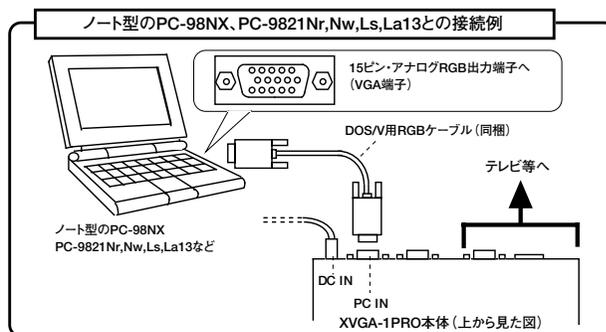
図19



●ノート型のPC-98NX、PC-9821Nr、Nw、Ls、La13との接続例

PC-98NXやPC-9821のノート型で、図16の映像出力端子を持つ機種（またはポート・バーを接続できる機種）は、以下のように接続します。テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図20



パソコン専用ディスプレイを接続できる端子（図16の端子）が、パソコン側に無い場合は、別売のアダプター（ポートリプリケーターなど）や、接続ケーブルなどが必要になることがあります。アダプターや、接続ケーブルは、パソコンに付属していることもありますし、別売の場合もあります。

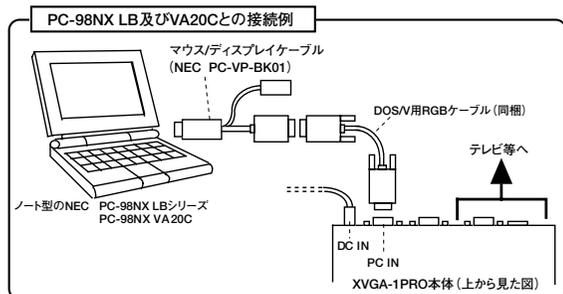
●PC-98NX LB、及びVA20Cとの接続例

PC-98NX LB、及びVA20Cは、アナログRGB出力端子が特殊な形状をしていますので、接続の際「マウス・ディスプレイケーブル (NEC PC-VP-BK01)」が必要です。

「マウス・ディスプレイケーブル」はNEC社より発売されていますので、別途ご購入ください。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図21



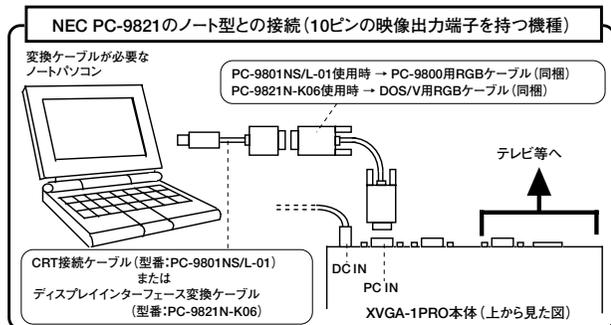
●「CRT接続ケーブル」が必要なノート型との接続例

以下のノート型の機種では、接続の際「CRT接続ケーブル (NEC PC-9801NS/L-01)」が必要です。「CRT接続ケーブル」はNEC社より発売されています。別途、ご購入ください。テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

「CRT接続ケーブル」が必要な機種

PC-9801NS/L、NS/A、NL/A
PC-9821シリーズ (Nr、Nw、Ls、La13を除く)

図22



※PC-9821Nr、Nw、Ls、La13との接続方法はP31をご覧ください。

●「CRTパック」が必要なノート型との接続例

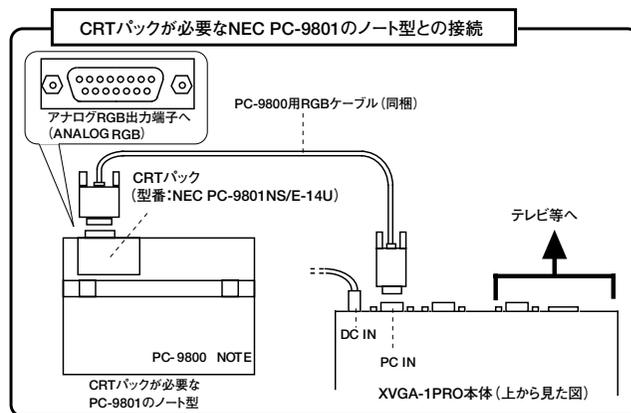
以下のPC-9801のノート型は、接続の際「CRTパック (PC-9801NS/E-14U)」が必要です。「CRTパック」はNEC社より発売されています。別途、ご購入ください。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

「CRTパック」が必要な機種

PC-9801NS/E、NS/T、NC、NS/R、NX、NX/C、NA、NA/C

図23



Apple PowerMacintoshとの接続

ここでは、Apple社製パソコンPowerMacintoshとの接続方法について解説します。

テレビとの接続方法についてはP39～をご覧ください。

●ApplePowerMacintoshシリーズ接続時の対応画面

XVGA-1PROを、Apple Macintoshシリーズに接続した際、以下の画面モードに対応できます。

対応画面モード	水平同期(垂直同期)	
640×480ドット(13インチ)	35kHz (67Hz)	
832×624ドット(16インチ)	49kHz (75Hz)	
1024×768ドット(19インチ)	61kHz (75Hz)	
VGA/SVGAモード	640×480ドット	31kHz (60Hz)
	800×600ドット	40kHz (60Hz)
	1024×768ドット	48kHz (60Hz)

●対応機種と接続

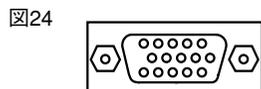
本機を接続した際に動作を保証できる機種はCPUにPowerPCを搭載した以下の機種です。

各機種との接続は、それぞれのページをご覧ください。

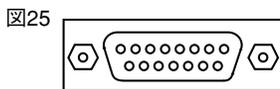
対応機種	ページ
PowerMacintosh G3、G4シリーズ	P36～
PowerMacintosh 6000、7000、8000、9000シリーズ	P37～
PowerBook G3、2400、3400シリーズ	P37～
PowerBook 5300シリーズ、Duo2300	P38～

●接続できない機種

●図24または図25の映像出力端子(ビデオポート)を持たない機種には接続できません。



15ピン・アナログRGB端子
(HD-SUB 3段、VGA仕様)



15ピン・アナログRGB端子
(DB-15ビデオポート)

●以下の機種は、映像出力端子が無かったり、映像信号が無いためXVGA-1PROには対応していません。

Performa 5000シリーズ、PowerBook 1400シリーズ
iMacシリーズ、iBookシリーズ

●旧Macintoshや旧型のビデオカードに関して

XVGA-1PROは、PowerMacintosh以前に販売されたMacintoshシリーズや、Macintosh IIシリーズ、及び各社から発売されている旧型のビデオカードでは映像を正常に変換できないことがあります。

これら旧型の機種の中には、一部特殊な映像信号を出力する機種もあることから、完全な動作を保証できません。

旧型の機種に接続することによって本機が故障することはありませんが、トラブルや動作不良が発生した際の責は何卒ご容赦ください。

●Macintosh用変換アダプターの設定

図25の端子を持つPowerMacintosh及びPowerBookを接続する際は、本製品に同梱の「Macintosh用変換アダプター」を使用します。

この、変換アダプターには、ディップ・スイッチが付いており、このスイッチの設定により、Macintoshの画面モードを設定することができます。ディップ・スイッチは正しく設定してください。

表4

スイッチ設定 画面モード	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	SW6
13インチモード 640×480ドット	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
16インチモード 832×624ドット	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON
19インチモード 1024×768ドット	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
VGA/SVGAモード※1 640×480～1024×768	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
マルチモニターモード※1 640×480～832×624	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF

※1 画面サイズの設定は、パソコンのコントロールパネルで変更できます。機種によっては使用できないことがあります。

ご注意: PowerMacintosh G3、G4など、図24の端子を持つ機種では、このアダプターは使用しません。

●旧型の機種を接続して画面が緑色になった時

旧型のMacintoshの中には、変換された映像が緑色がかってしまうことがあります。

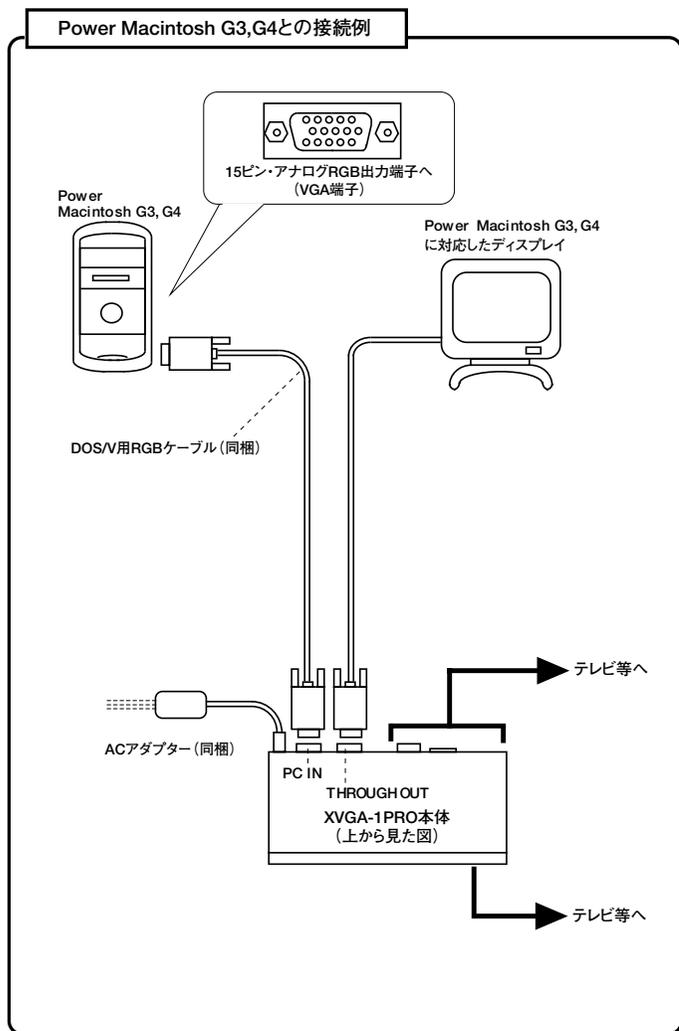
これは、緑の映像信号に同期信号が含まれていることが原因です。

もし旧型のMacintoshを接続してこの様な症状が発生した時は、スクリーン・メニュー(サブ・メニュー)の「SYNC GREEN」の設定を「YES」にしてください。

●PowerMacintosh G3、G4との接続例

PowerMacintosh G3、G4との接続方法は以下のようになります。
テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図26



●PowerMacintosh6000、7000、8000、9000との接続例

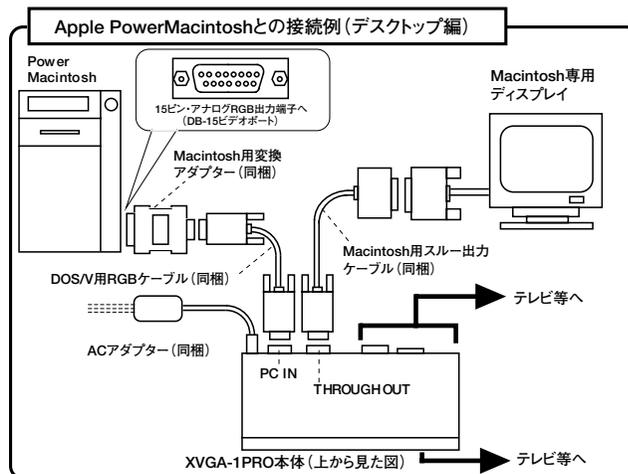
PowerMacintoshで図25の端子を持つ機種との接続は、以下のようになります。

パソコンは接続が終わってから起動してください。

Macintosh用変換アダプターのスイッチ設定はP35をご覧ください。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図27



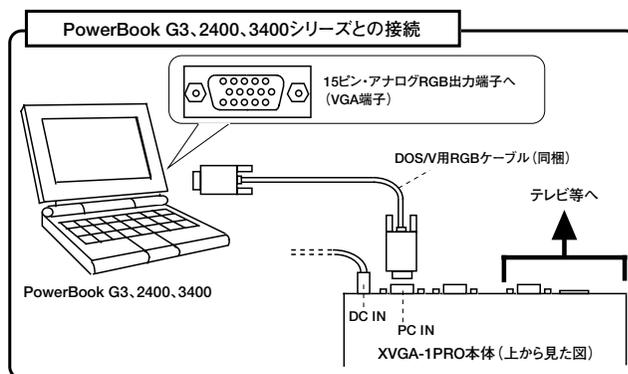
●PowerBook G3、2400、3400シリーズとの接続例

Power Book G3、2400、3400シリーズは、映像出力端子の形状がDOS/Vパソコンと同様ですので、本製品に付属のDOS/V用RGBケーブルで接続することができます。

接続が終わってからPowerBookを起動してください。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図28



●PowerBook5300シリーズとの接続例

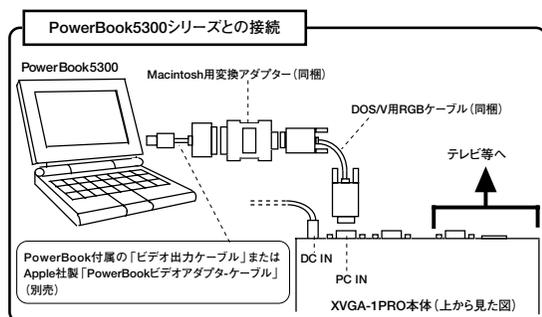
PowerBook5300シリーズ以前に発売された機種に接続する際は、Apple社製「PowerBookビデオ出力ケーブル（またはビデオアダプタケーブル）」を使用して接続します。

接続が終わったらPowerBookを再起動して、ミラーリングの設定を行なってください。

Macintosh用変換アダプターのディップ・スイッチ設定はP35をご覧ください。

テレビとの詳しい接続方法についてはP39～をご覧ください。

図29



●PowerBook Duo2300との接続について

Duoシリーズとの接続には、Apple社製のDuoDockまたはMiniDockが必要です。

●PowerBookのミラーリング機能について

PowerBook5300シリーズ、及びそれ以前に発売された機種に接続する際、PowerBook側の「ミラーリング(ビデオ・ミラーリング)」設定を変更しなければ正常に映像を出力できない機種があります。

ミラーリングの設定は、「コントロール・パネル」にある「PowerBook Display」で変更できます。

すべての接続を行った後、PowerBookのミラーリングを「入」に設定し、PowerBookを再起動すると液晶ディスプレイと外部ディスプレイ(ここではXVGA-1PROのこと)に同じ画面を表示できる「ビデオ・ミラーリング・モード」に設定します。

ミラーリングが「切」の時は、液晶ディスプレイと、外部ディスプレイを別々の画面として使用できる、「デュアル・ディスプレイ・モード(二つの画面は縦または横につながっている)」になりますので、PowerBookの液晶ディスプレイに表示されている画面と同じ映像を、テレビに表示することはできません。

ミラーリングの設定方法や、ミラーリングについて、もっと詳しくお知りになりたい方は、PowerBookの取扱説明書をご覧ください。

テレビとの接続(端子別)

本機で変換された映像信号は、複数の映像出力端子から出力されており、端子によって接続が異なります。ここでは、テレビとの接続方法を端子別にご紹介します。

■テレビの種類

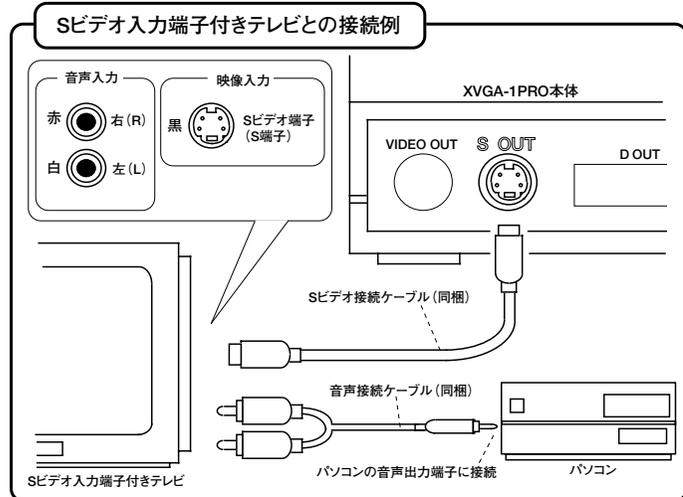
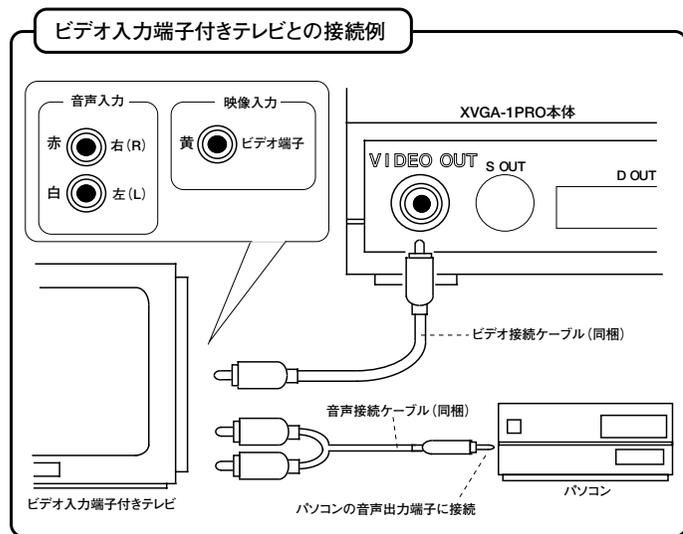
家庭用のテレビには、機種によって以下の5種類の映像入力端子があります。

接続の際は、それぞれのページを参照してください。

端子の名前	テレビの端子形状	ページ
ビデオ入力端子 (コンポジット・ビデオ)		P40~
Sビデオ入力端子 (S端子)		P40~
D入力端子 (D1, D3)		P42~
コンポーネント入力端子 (HD/コンポーネント・ビデオ)		P44~
VGA入力端子 (15ピン・アナログRGB端子)		P46~

■ビデオ入力端子やSビデオ入力端子付きテレビとの接続

テレビにビデオ入力端子(コンポジット・ビデオ端子)やSビデオ入力端子がある時は、以下の方法で接続します。



※ビデオ入力端子とSビデオ入力端子が両方あるテレビでは、Sビデオ入力端子に接続した方が鮮明な映像を表示できます。

●ビデオ入力端子とは

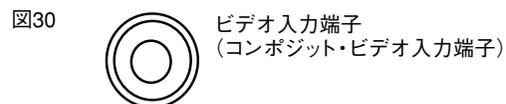
ビデオ入力端子は、もっとも一般的な映像端子で、ほとんどのテレビやビデオデッキに付いています。

通常、この端子はビデオデッキなどの接続に使用します。

コンポジット・ビデオ入力端子とも呼ばれています。

テレビやビデオデッキの前面や後面にある、図30の黄色い端子です。

テレビやビデオデッキの機種や世代によって、映像の鮮明度が異なることがあります。



●Sビデオ入力端子とは

Sビデオ入力端子は、ビデオ入力端子よりもニジミの少ない鮮明な映像を入力できる端子です。

通常はS-VHSなどのビデオデッキを接続するために使用します。

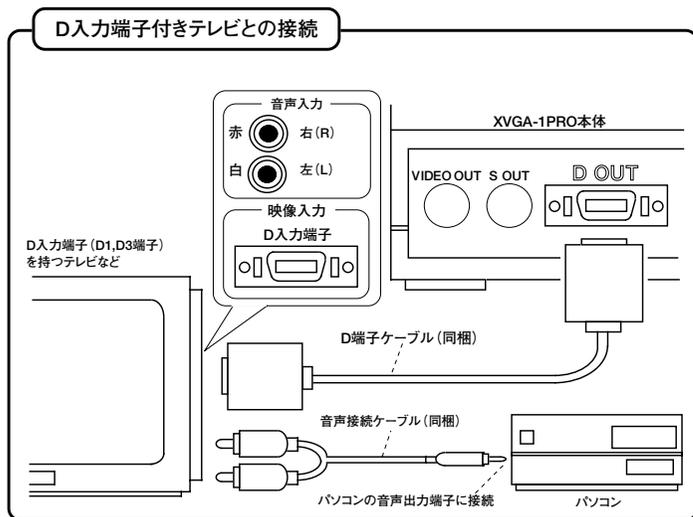
S端子とも呼ばれています。

テレビやビデオデッキの前面や背面にある、図31の黒い端子です。



■D入力端子を持つテレビとの接続

ご使用のテレビにD入力端子がある時は同梱のD端子接続ケーブルを使用し、以下のように接続できます。



●D端子とは

D端子で使用される映像信号は、コンポーネント端子と同じ色差信号です。

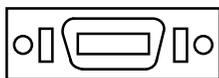
一般的に、NTSC方式の色差信号が入力可能なD端子を「D1」端子と呼び、ハイビジョン(HD)の映像信号を入力可能なD端子のことを「D3」端子と呼びます。

表5

出力信号 TV側の入力端子名 (SW設定)	1125 i (HD)	525 i (NTSC)
D1入力端子		○
D3入力端子	○	○

○=対応可能

図32



D端子
(D1、D3)

●画面比率4:3のD入力端子付きテレビについて

画面比率4:3のD入力端子付きテレビにD接続ケーブルで接続すると、パソコン画面は「画面2」または「画面3」の様に表示されることがあります。この様な時は、スクリーン・メニューのWIDE_TV設定を「OFF」に設定した後、TV_TYPEの設定を「4:3」に設定してください。テレビ側がD端子の識別信号を自動認識し「画面1」の様に全画面表示することができます。しかし、TV_TYPE機能はすべてのD入力に対応した4:3のテレビで使用できるとは限りません。D端子の識別信号に対応していないテレビでは、「画面2」または「画面3」の様に表示されます。

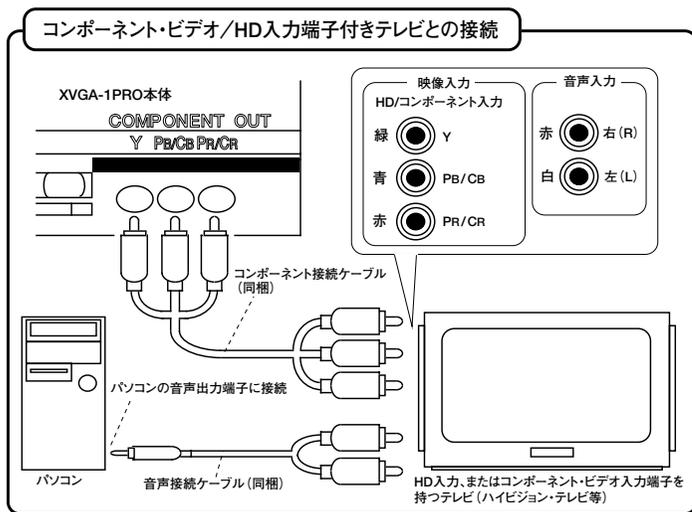


ご 注 意

本機のコンポーネント出力端子 (COMPONENT OUT) とD出力端子 (D OUT) は、同時に使用することができません。同時に使用すると本機の故障の原因となりますのでご注意ください。

■コンポーネント・ビデオ／HD入力端子を持つテレビとの接続

ご使用のテレビにコンポーネント入力端子がある時は同梱のコンポーネント接続ケーブルを使用し、以下のように接続できます。



●画面比率4:3のHD入力端子付きテレビについて

画面比率4:3のHD入力端子付きテレビにコンポーネント接続ケーブル(Y,PB/CB,PR/CR)で接続すると、パソコン画面が「画面2」または「画面3」の様に表示されてしまうことがあります。ハイビジョン画面は、基本的にワイド(16:9)なので、この様な表示になります。ご了承下さい。

※テレビの機種やメーカーによっては、テレビ側の設定を変更することで16:9画面を「画面1」の様に4:3画面で全画面表示できることがあります。



ご注意

本機のコンポーネント出力端子 (COMPONENT OUT) とD出力端子 (D OUT) は、同時に使用することができません。同時に使用すると本機の故障の原因となりますのでご注意ください。

●コンポーネント端子とは

コンポーネント端子は通常、図33の様に「Y」「Pb/Cb」「Pr/CR」の3つの端子で一組になっています。

コンポーネント端子は、通常のテレビでは、「コンポーネント・ビデオ信号 (NTSC方式の色差信号)」を入力でき、これらの端子は「コンポーネント・ビデオ入力端子」と呼ばれています。

また、ハイビジョンテレビでは、ハイビジョン信号 (ハイビジョンの色差信号) を入力することができ、これらの端子は「HD入力端子」と呼ばれています。

コンポーネント・ビデオ入力端子の特徴

コンポーネント・ビデオ入力端子は、ワイドテレビなどに付いている色差方式のNTSC映像を入力する端子です。

S端子よりも若干鮮明な映像を入力できます。

テレビによっては、「色差入力端子」や「DVD入力端子」と記述されていることがあります。

HD入力端子の特徴

HD入力端子は、ハイビジョン・テレビやハイビジョン・モニターに付いている映像入力端子です。

HD入力端子を持つテレビに接続した場合、よりパソコン用ディスプレイに近い鮮明度で、映像を表示することができます。

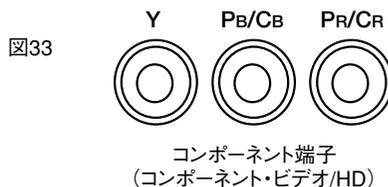


表6

出力信号 (SW設定)	1125 i (HD)	525 i (NTSC)
TV側の入力端子名		
コンポーネント・ビデオ 入力端子		○
HD入力端子	○	○

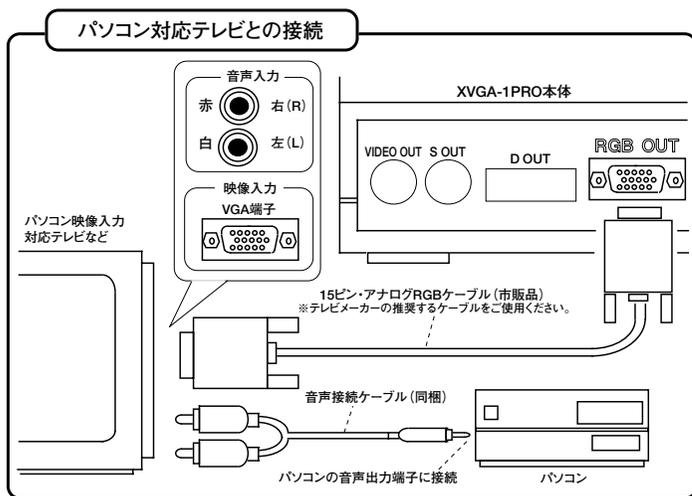
○=対応可能

ご注意

本機のコンポーネント出力端子 (COMPONENT OUT) から出力される映像信号は、「Y、Pb/Cb、Pr/CR」または「Y、Pb、Pr」の映像入力端子を持つテレビには接続できますが、「Y、Cb、Cr」としか表記されていないテレビの端子には、映像信号の仕様の違いなどから接続できません。

■パソコン対応テレビ(VGA端子付テレビ)との接続。

ご使用のテレビに図34のパソコン映像入力端子(VGA端子)がある時は、以下のように接続できます。



●VGA端子とは

VGA入力端子は、パソコン映像入力に対応したテレビに付いている15ピン・アナログRGB端子のことで、

通常は、DOS/Vパソコン(AT互換機)の映像を入力するための端子です。

しかし、これらのテレビの多くは、パソコンの画面モードとしては最も低い640×480ドットの画面サイズの映像しか表示することができません。

本機を使用すれば、800×600ドットの画面や1024×768ドットの画面も表示する事ができます。

図34



テレビの種類を選択する

ご使用のテレビに合わせて、XVGA-1PRO本体前面のテレビモード・スイッチ(TV SW)を設定してください。

通常のテレビに接続する際は「NTSC」に、パソコン対応テレビに接続する際は「VGA」に、ハイビジョンテレビに接続する際は「HD」に設定します。

(スイッチの設定を間違えると映像が正しく表示されませんのでご注意ください。)

テレビ	ハイビジョン・テレビ	PC入力対応テレビ	通常のNTSCテレビ
TV SW 設定	HD VGA NTSC	HD VGA NTSC	HD VGA NTSC

電源を入れる

ケーブルなどの接続が終わったらXVGA-1PRO本体に図35の様にACアダプターを接続し、電源ボタン(POWER)を押して、電源をオン(入)にします。

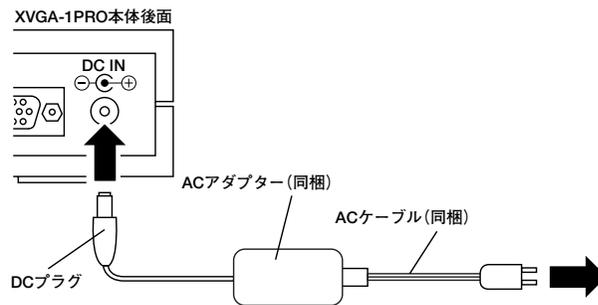
電源がオンになると、赤色の待機ランプ(STANDBY)が消灯し、緑色の電源ランプ(POWER)が点灯します。

パソコンの映像が正しく入力されているかどうかは、XVGA-1PRO本体前面の「入力確認ランプ(INPUT)」で確認できます。このランプが赤く点灯していれば、正しく映像が入力されています。

通常は、これでパソコンの画面がテレビに正しく表示されるはずですが、(もし、入力確認ランプが点灯していない時は、パソコンの電源が入っていないか、パソコンから映像が出力されていない可能性があります。)

次に、各パソコンやテレビに合わせて、画面の表示位置や明るさ等を設定します。(次ページ参照)

図35



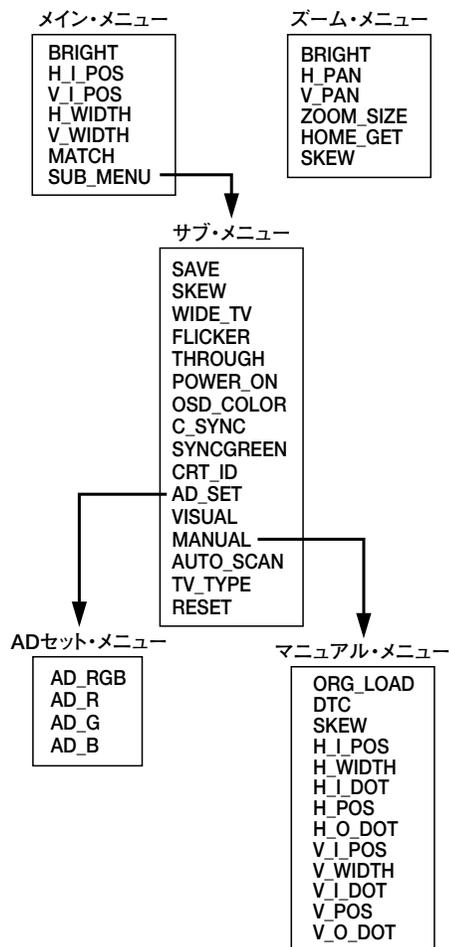
スクリーン・メニュー

■スクリーン・メニューの操作方法

画面調整は、テレビ画面に表示されたスクリーン・メニューで行ないます。

スクリーン・メニューからは、画面の表示位置や明るさ等、様々な調整を行なうことができます。

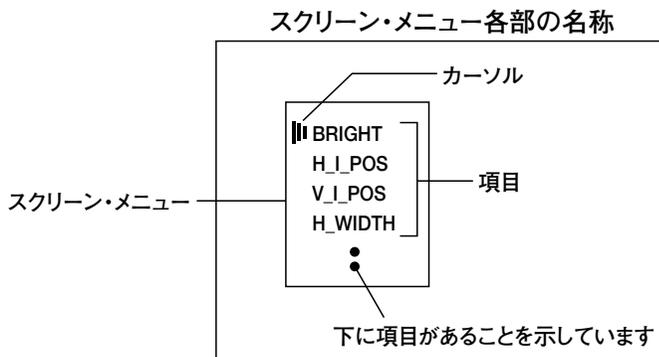
スクリーン・メニューには以下の種類と項目があります。



●スクリーン・メニューを表示する

XVGA-1PRO本体(またはリモコン)の「メニュー(MENU)」ボタンを押すことで、テレビ画面にスクリーン・メニューを表示することができます。

もう一度「メニュー(MENU)」を押すとスクリーン・メニューを消すことができます。

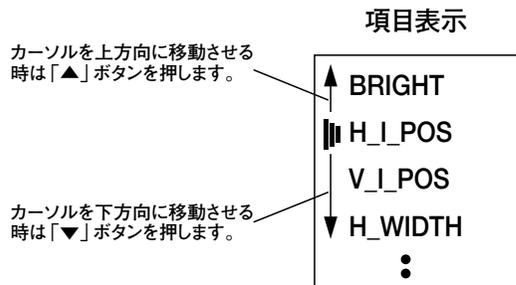


●項目の選択方法について

スクリーン・メニューの項目は、「▼」ボタンと「▲」ボタンでカーソルを移動させることにより、選択することができます。

選択した項目を調整したい時は、「OK」ボタンを押すことで、調整画面を表示することができます。

(もう一度、「OK」ボタンまたは「メニュー(MENU)」ボタンを押すと、調整画面を終了し項目表示に戻ります。)

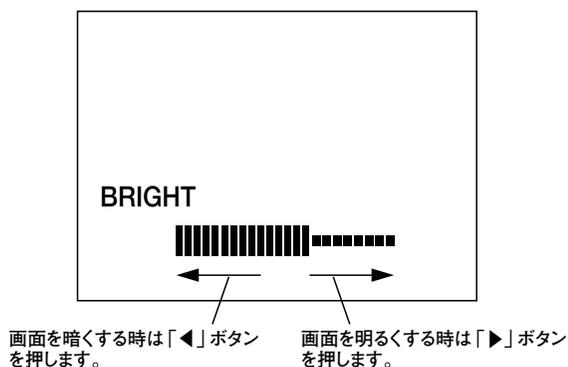


●調整方法について

調整する際は、調整画面で「左(◀)」ボタンと「右(▶)」ボタンを使用します。

例えば調整項目が「BRIGHT」の時、「左(◀)」ボタンで画面を暗く、「右(▶)」ボタンで画面を明るくできます。

調整画面



●調整した内容を有効にする。

調整した内容を有効(決定)にしたい時は、調整画面で「OK」ボタンを押してください。調整した内容が有効になり、項目表示に戻ります。

(調整画面で、「メニュー(MENU)」ボタンを押すと、調整する前の値に戻され、項目表示に戻ります。)

●調整した内容を記憶させる。

有効になった調整内容を、次に電源を入れた時にも有効にしたい時(完全に記憶させたい時)は、サブ・メニューの「SAVE」機能を使用すると、設定をメモリに記憶することができます。

また、XVGA-IPROの「電源(POWER)」ボタンを押して待機状態にする時にも同様に記憶することができます。

※「電源(POWER)」ボタンを使用せずに、直接、電源アダプターを取り外したり、AVコンセントなどで、外部から電源を切った場合、TV SWを切り替えた場合は、調整内容は記憶されません。

●ズーム機能使用中のメニュー表示について

ズーム機能(画面の拡大表示機能)を使用した時は、以下の項目を使用することができます。

ズーム機能使用時は、サブ・メニュー(SUB_MENU)を使用できません。

サブ・メニューを使用したい時は、一旦ズーム機能を終了してください。

BRIGHT
H_PAN
V_PAN
ZOOM_SIZE
HOME_GET
SKEW

●調整した内容を初期化したい

スクリーン・メニューで設定した調整内容を工場出荷時の設定に初期化するには、スクリーン・メニュー(サブ・メニュー)の「RESET」機能を使用してください。

また、XVGA-IPRO本体の「左(◀)」ボタンと「右(▶)」ボタンを同時に押しながら、電源ボタン(POWER)を押して電源をオンにすることで、同様に初期化することができます。

テレビ画面に「RESET」という文字が表示されれば、正しく初期化されています。

■MATCH(マッチ)機能で画面調整を行う

接続が終わって実際にXVGA-1PROを使用する際、スクリーン・メニューのMATCH機能を使用し画面調整を行う必要があります。

はじめて接続するパソコンや、はじめて使用する画面モード(画面サイズ)では、一度このMATCH機能を使用し、画面の調整を行った後、SAVE機能で(または電源ボタンを押して)設定をメモリに記憶させてください。

一度設定が記憶されれば、同じパソコン、同じ画面モードで使用する限り、画面の不具合はほとんど起こりません。

最初は、画面モードが変わる度にMATCH機能を使用し記憶させなければならないので、面倒かもしれませんが、より鮮明な映像を得たい時はMATCH機能の使用をお奨めします。

以下の場合にはMATCH機能で画面調整し、設定を記憶させた方が良いでしょう。

- 本機を購入してXVGA-1PROにはじめてパソコンを接続する時。
- はじめて入力される画面モードや今までと違うパソコンに接続する時。
- リフレッシュレート(垂直同期周波数)を変更した時。
- 画面の上・下・左・右の端が欠けたり、表示されない時。
- 文字などの細部や色と色の境目が変色したり、細かく揺れたりする時。
- 画面の表示位置や画面比率がおかしい時。
- 画面にノイズの様な、ざらつきや文字化け(画像が崩れる)、画像の乱れが発生する時。

MATCH機能による画面調整の必要性

パソコンの映像出力は、機種や画面モードによってその特性が異なります。

例えば640×480ドットの画面サイズでも、機種によって周波数やクロック(ドットクロック)が異なるため、それに合わせて本機のようなデジタル処理を必要とするスキャンコンバーターは様々な設定を調整する必要があります。MATCH機能は、この様々な設定を自動で調整してくれる便利な機能です。

■MATCHの調整手順

1. パソコン画面を表示する(WindowsやMacintoshのデスクトップ画面など)
2. スクリーン・メニューの「MATCH」機能を使用し、入力信号に最適な画面表示を自動設定する。
MATCH機能を使用後、画面に「OK」の文字が表示された時は、MATCH処理が終了されていますので、「YES」を選択し設定を有効にしてください。(この時「NO」を選択すると調整前の設定に戻ります)もし、調整後、画面に「MATCH FALSE」と表示された場合は、何らかの原因で、MATCH機能が正しく動作していません。
3. リモコンの表示位置調整ボタンを使用し、TV画面の表示位置を調整する。
4. 明るさ調整(BRIGHT)で画面の明るさを調整する。

MATCH機能使用時の注意事項と制限

MATCH機能は手軽に画面調整を行うことのできる便利な機能ですが、万能ではありません。以下の場合には正しく調整できないことがあります。

- パソコンの画面いっぱい、真っ黒な映像・画像が表示されている時などは正しく自動調整できません。(パソコン起動時の画面、DOS画面、Windowsの壁紙を真っ黒にしている時など)

MATCH機能が正しく動作しない画面の例



画面が真っ黒の時



画面の右端や左端が真っ黒の時。また、画面の上端や下端が真っ黒の時。

- 特殊な同期信号を出力しているパソコンや画面モードでは自動調整できません。
- MATCH機能を使用し、調整が完全に終了するまで若干時間がかかりますが、この時XVGA-1PROの電源を切らないでください。
- 同じ同期周波数(水平同期・垂直同期)で異なる画面サイズが入力された場合には正しく調整できないことがあります。

■スクリーン・メニューの機能解説

●メイン・メニュー

BRIGHT (明るさ調整)

テレビ画面に表示された映像の、明るさを調整します。
「◀」、「▶」ボタンを使って操作し、「OK」ボタンで決定します。

H_POS (水平サンプリング開始位置調整)

テレビ画面内に表示されている画像の右端や左端が欠けてしまうような時に調整します。

水平同期信号から映像信号が始まるまでの幅(サンプリングを開始する位置)を調整する機能です。

「◀」、「▶」ボタンを使って調整し、「OK」ボタンで決定します。

V_POS (垂直サンプリング開始位置調整)

テレビ画面内に表示されている画像の上端や下端が欠けてしまうような時に調整します。

垂直同期信号から映像信号が始まるまでの幅(サンプリングを開始する位置)を調整する機能です。

「◀」、「▶」ボタンを使って調整し、「OK」ボタンで決定します。

H_WIDTH (水平表示幅調整)

テレビ画面に表示された映像の、横方向の表示幅を調整できます。

「◀」、「▶」ボタンを使って操作し、「OK」ボタンで決定します。

V_WIDTH (垂直表示幅調整)

テレビ画面に表示された映像の、縦方向の表示幅を調整できます。

「◀」、「▶」ボタンを使って操作し、「OK」ボタンで決定します。

MATCH (画面自動調整機能)

自動画面調整を行います。

すでに画面が正しく表示されている時は、この機能を使用する必要はありません。テレビ画面の左右や上下の端が欠けて映像が表示されない時や、テレビ画面にモアレ(縦縞)が発生する時などに使用してみてください。

調整を実行する時は、「YES」を選択し、「OK」ボタンで実行します。

ただし、この機能は万能ではありません。画面全体に真っ黒な映像が表示されていたりすると、正しく表示位置を調整できないことがあります。

特にパソコン起動時のBIOS表示画面やDOS画面などは画面が真っ黒なので、正しく調整できない可能性があります。調整の際は、Windowsのデスクトップ画面の様に画面全体に画像が表示された状態で使用してください。

MATCH機能を使用し調整が完全に終了するまでは、若干時間がかかります。

作業が無事終了したら、画面に「OK」と表示されますので、調整を有効にしたい時はここで「YES」を選択し「OK」ボタンを押してください。

作業が正しく調整できなかった時は画面に「MATCH FALSE」と表示されます。

この機能の解説はP52にも詳しく書かれています。

SUB_MENU (サブ・メニュー)

この項目を選択すると、特殊な設定ができるようになります。詳しくはP57～をご覧ください。

●ズーム・メニュー

このメニューは、ズーム機能を使用中にMENUボタンを押すことで表示できます。

BRIGHT (明るさ調整)

メイン・メニューのBRIGHTと同じ機能です。
画面の明るさを調整します。

H_PAN (ズーム水平表示位置調整)

画面拡大時(ズーム時)の横の表示位置を調整します。
「◀」、「▶」ボタンを使って操作し、「OK」ボタンで決定します。
この設定は、メモリに記憶することができません。パソコンの画面モードが変わったりXVGA-IPROの電源がオンされる度に初期化されます。(TV SWが変更された時も同様です)

V_PAN (ズーム垂直表示位置調整)

画面拡大時(ズーム時)の縦の表示位置を調整します。
「◀」、「▶」ボタンを使って操作し、「OK」ボタンで決定します。
この設定は、メモリに記憶することができません。パソコンの画面モードが変わったりXVGA-IPROの電源がオンされる度に初期化されます。(TV SWが変更された時も同様です)

ZOOM_SIZE (拡大率調整)

ズーム時の、画面の拡大率を調整します。
「◀」、「▶」ボタンを使って操作し、「OK」ボタンで決定します。
画面を拡大・縮小することができます。
この設定は、メモリに記憶することができません。

HOME_GET (表示位置登録)

リモコンのHOME A～Cのボタンに、拡大時の表示位置と拡大率を登録できます。
この機能を使用すると、リモコンのホーム A～Cのボタンを押すことで、ユーザーが任意に指定した場所をボタン一つでズーム表示(拡大)できます。
この機能の、詳しい活用方法はP65をご覧ください。

SKEW (サンプリング位置調整)

画面のサンプリング位置を微妙に調整します。
変換した映像に水平方向のノイズ(画面のざらつき)が発生した時に調整すると症状を改善することができます。最適な位置を設定してください。SKEW機能は設定される値によって、テレビに表示された画面が上下に細かく揺れることがあります。この様な症状が発生した時はSKEWを調整して揺れない位置に設定してください。

●サブ・メニュー(SUB_MENU)

このメニューは、メイン・メニューの「SUB_MENU」を選択すると表示されます。

SAVE (設定保存)

スクリーン・メニューで設定された内容をXVGA-IPRO本体内部のメモリーに保存することができます。
「YES」を選択し、「OK」ボタンを押すことで設定を記憶できます。
設定を保存しておけば、XVGA-IPROの電源がオフの状態でも設定された内容が失われることはありません。

SKEW (サンプリング位置調整)

この機能を使用すると、映像の変換時(サンプリング時)に発生する画面のノイズのような「ざらつき」を押さえることができます。
画面を静止(PAUSE)している時は使用できません。
ズームメニューのSKEWと同じ機能です。

WIDE_TV (ワイドテレビ設定)

ワイドテレビやハイビジョン・テレビの画面比率(16:9比率)の画面で、画面の横方向の幅を縮めて映像を1:1の比率で表示させる機能です。
ワイドテレビや、ハイビジョンテレビなど16:9のテレビでご使用の方には便利な機能です。この機能は、画面モードごとに設定できます。
この機能の詳しい説明はP66にも書かれています。

FLICKER (フリッカー設定)

TV SW設定がNTSCとHDの時は、標準設定は「STD」です。
TV SW設定がVGAの時、標準設定は「OFF」です。
「HARD」に設定すると、映像が若干鮮明になりますが、画面のちらつきが激しくなります。「HARD」の設定はビデオプリンターなどで画面を印刷する時などには適しています。
「OFF」に設定すると、画面をノン・インターレス表示にする事ができます。画面をノン・インターレス表示にすると画面のちらつきは無くなりますが、NTSC画面では画素が荒くなるので高い解像度の画面モードの表示には適していません。この設定は画面モードごとに設定できます。

FLICKER機能使用時の注意事項

- TV SW設定がNTSCの時に設定が「OFF」になっていると、ビデオデッキでの録画が正しくできませんのでご注意ください。
- TV SW設定がVGAの時にFLICKER設定を「OFF」以外で設定すると画面を正しく表示できないことがあります。特に液晶を使用した機器では画面が乱れるなどの症状が発生することがあります。
- TV SW設定がHDの時、設定が「OFF」になっていると、画面のちらつきを抑えることはできませんが、ノン・インターレス表示にはできません。

THROUGH (スルー出力設定)

通常は「AUTO」です。

ごく希に、XVGA-1PROのスルー出力端子 (THROUGH OUT) にディスプレイが繋がっているかどうかをXVGA-1PROが認識できないことがあります。

この様な時は、接続したテレビやディスプレイで、「画面が異常に明るい」「画面が異常に暗い」などの症状が発生します。もし、このような症状が発生したら、設定を変更してみてください。

「CRT」の設定にするとXVGA-1PROのTHROUGH OUT端子にディスプレイが繋がっていることを、強制的にXVGA-1PROへ知らせます。

「NONE」の設定にするとXVGA-1PROのTHROUGH OUT端子にディスプレイが繋がっていないことを、強制的にXVGA-1PROに知らせます。

POWER_ON (電源設定)

XVGA-1PROの電源設定を変更します。

通常は「STANDBY」です。

設定を「ON」にすると、ACアダプターがACコンセントに接続されている時、XVGA-1PROの電源を、常にオンの状態にします。AVコンセントなど、外部のスイッチなどから電源をオン/オフする際に便利な機能です。

OSD_COLOR (OSD色選択)

スクリーン・メニューなど、テレビ画面に表示される文字の色を変更することができます。8つの中から、お好みの色を選んでください。

C_SYNC (複合同期信号選択)

入力される同期信号を選択することができます。

特殊な用途向けに用意されている機能です。

むやみに設定を変更すると、映像が歪んだり、乱れたりしますので、通常は「NO」の設定でご使用ください。同期信号は自動で認識されますので、手動では変更できないことがあります。

SYNCGREEN (シンク・オン・グリーン設定)

パソコンから入力される映像の緑信号に同期信号が含まれていた時、それらを取り除き、テレビ画面での変色を防ぎます。

通常は「NO」の設定です。

もし、旧型のMacintoshでテレビに表示した画面が緑色がかって見える時はこの設定を「YES」にしてみてください。

CRT_ID (ディスプレイ認識設定)

パソコンから、どうしても映像が出力されない時に使用します。

通常は「ID_ON」の設定でご使用ください。

ごく希に、パソコンがディスプレイ (ここではXVGA-1PROのこと) を認識できず映像を出力しないことがあります。この様な時、これらの設定を「ID_ON」に設定したり、「THROUGH」に設定してみたりしてください。

AD_SET (A/D調整)

映像のサンプリング・レベルを調整できます。

この機能の詳細はP60を参照してください。

VISUAL (変換方式選択)

入力された映像信号を、YUV (色差方式) で変換するか、RGB方式で変換するかを選択することができます。初期設定は「RGB」です。

設定が「YUV」の時は、色合いを重視した変換を行います。写真や動画映像を見る時は、「YUV」の設定にしておくこと色の再現性が良くなります。

設定が「RGB」の時は、画面の鮮明度を重視した変換を行います。文字や細かい画像を見る時は、「RGB」の設定にした方が良いでしょう。また、画面のズーム表示 (拡大表示) を行う際は、「RGB」の設定の方が文字などが鮮明になります。

「RES.」は未使用の意味です。選択しないでください。

設定を変更した後は、必ずXVGA-1PROの電源ボタン (POWER) を押して、再起動してください。再起動しないと、設定は有効になりません。

MANUAL (手動画面調整)

MATCH機能で自動的に画面表示を調整できなかった時、MANUAL内の項目を設定することで、手動で画面調整をすることができます。

MANUAL内の機能はたいへん特殊なもので、設定項目の数も多いため、開発者以外が機能の意味を理解することは困難です。これらの機能は特殊用途向け、サービス用に用意されている機能ですので、通常は使用しない方が良いでしょう。MANUAL内にある機能の詳細はP61～を参照してください。

AUTO_SCAN (自動追従)

この設定は常に「YES」です。

この設定を「NO」にすると、入力される映像信号の自動追従 (オートスキャン) ができなくなります。

TV_TYPE(テレビ形態変更)

お客様が、XVGA-IPROとテレビをD接続ケーブルで接続されている時にこの機能を利用することができます。

ご使用のテレビが4:3仕様の時は設定を「4:3」に、ご使用のテレビが16:9(ワイド型)の時は設定を「16:9」してください。

この機能を使用することで、D端子から識別信号がテレビに送られ、テレビが最も最適な表示を行います。

しかし、テレビ側がD端子の識別信号に対応していない時は、設定を変更してもテレビの表示は変化しません。

初期設定は、「16:9」です。

この機能の利用例は、P43に書かれています。



RESET(リセット)

スクリーン・メニューで設定した調整内容を初期化する事ができます。

「YES」を選択し、OKボタンを押すことで、すべての設定内容を初期化し、工場出荷時の設定に戻すことができます。

●A/Dセット・メニュー(AD_SET)

このメニューは、サブ・メニューの「AD_SET」を選択し「OK」ボタンを押すことで表示できます。

AD_RGB (RGB ADレベル調整)

サンプリング・レベルを調整します。

あまりレベルを高くすると、明るい色が白っぽくなったり、色ダレを起こしますので、通常は工場出荷時の設定でご使用ください。

AD_R (赤ADレベル調整)

赤色のサンプリング・レベルを調整します。

画面の色合い調整などにも使用できます。

AD_G (緑ADレベル調整)

緑色のサンプリング・レベルを調整します。

画面の色合い調整などにも使用できます。

AD_B (青ADレベル調整)

青色のサンプリング・レベルを調整します。

画面の色合い調整などにも使用できます。

●「MANUAL」機能の設定方法

MANUALメニューは、サブ・メニューの「MANUAL」を選択し「OK」ボタンを押すことで表示できます。MANUALメニュー内にある項目は、MATCH機能で調整がうまくできなかった時に使用する項目です。

これらの項目は、通常のパソコンの映像を入力した時に使用する事はほとんどありません。しかし、ごく希に対応画面モードであっても、様々な要因で正しく自動調整できない事があります。この様な時に各項目を細かく調整することができます。

これらの機能はたいへん特殊な物で、設定項目の数も多いため、開発者以外が機能の意味を理解することは困難です。

これらの機能は特殊用途向け、サービス用に用意されている機能ですので、通常は使用しない方がよいでしょう。調整することで、かえって画面表示がおかしくなることがあります。

どうしても調整が必要な時は、以下の手順を参考にして調整して下さい。

また、間違った調整を行って画面の表示がおかしくなってしまった時は、ORG_LOAD機能を使用して現在の調整内容を工場出荷時の設定に初期化してください。それぞれの機能の詳細については次ページ以降をご覧ください。

手 順

1. ORG_LOADを実行して現在の画面調整を初期化する。
2. DTCを調整してドットクロックを合わせ、画面の縦縞を改善する。
(パソコン画面には1ドット間隔の縦縞模様を表示すると調整し易い)
3. SKEWを調整して画面の水平方向に発生するノイズ(ざらつき)を解消する。
4. H_I_POSを調整する。
5. H_WIDTHを調整する。
6. H_I_DOTを調整する。
7. H_POSを調整する。
8. H_O_DOTを調整する。
9. V_I_POSを調整する。
10. V_WIDTHを調整する。
11. V_I_DOTを調整する。
12. V_POSを調整する。
13. V_O_DOTを調整する。
14. BRIGHTで画面の明るさを調整する。

設定の際、上記手順の番号通りに調整する必要はありません。調整しやすい部分から調整を行ってください。

画面調整の時は、パソコン画面に何か画像を表示した方が調整しやすいと思われます。

マニュアル・メニュー(MANUAL)

このメニューは、サブ・メニューの「MANUAL」を選択し「OK」ボタンを押すことで表示できます。

ORG_LOAD (オリジナル・データ読み込み)

現在の画面モードの調整(画面調整)を初期化し、工場出荷時の設定に戻します。MANUAL内のメニューの項目を調整する時は、まずこの機能を実行して、画面調整を初期化してください。

「YES」を選択し「OK」ボタンを押すことで実行できます。

DTC (ドットクロック調整)

サンプリングの間隔を広げたり、狭くしたりします。

映像の変換時(サンプリング時)に発生する縦縞(モアレ)を改善できます。

ただし、画面のリフレッシュレートや水平同期周波数などによって、改善できないことがあります。

DTCは、画質に直接影響する機能なので、むやみに調整を変更すると、かえって画質が劣化したり、画面が揺れるなどの症状が発生することがあります。正確に調整したい時は、画面の壁紙(模様)に1ドット間隔の縦縞模様を表示すると調整が簡単です。

SKEW (サンプリング位置調整)

画面のサンプリング位置を微妙に調整します。

変換した映像に水平方向のノイズ(画面のざらつき)が発生した時に調整すると症状を改善することができます。最適な位置に調整してください。

H_I_POS (水平サンプリング開始位置調整)

テレビ画面内に表示されている画像の右端や左端が欠けてしまうような時に調整します。

入力された水平同期信号から映像信号が始まるまでの幅(サンプリングを開始する位置)を調整します。

メインメニューのH_I_POSと同じ機能です。

H_WIDTH (水平表示幅調整)

テレビ画面に表示された映像の、横方向の表示幅を調整できます。

メインメニューのH_WIDTHと同じ機能です。

H_I_DOT (水平サンプリング期間調整)

水平方向の映像信号が始まる位置(サンプリングを開始する位置)から、映像が終わる位置(サンプリングが終わる位置)までの幅を調整します。

H_POS (水平出力表示位置調整)

出力時の表示位置を調整できます。

水平方向の表示位置を調整できます。

H_O_DOT (水平出力表示期間調整)

出力時の水平方向の映像信号が始まる位置から、映像が終わる位置までの幅を調整します。

V_I_POS (垂直サンプリング開始位置調整)

テレビ画面内に表示されている画像の上や下の端の画像が欠けてしまうような時に調整します。

垂直同期信号から映像信号が始まるまでの幅(サンプリングを開始する位置)を調整します。

メインメニューのV_I_POSと同じ機能です。

V_WIDTH (垂直表示幅調整)

テレビ画面に表示された映像の、縦方向の表示幅を調整できます。

メインメニューのV_WIDTHと同じ機能です。

V_I_DOT (垂直サンプリング期間調整)

垂直方向の映像信号が始まる位置(サンプリングを開始する位置)から、映像が終わる位置(サンプリングが終わる位置)までの幅を調整します。

V_POS (垂直出力表示位置調整)

出力時の表示位置を調整できます。

垂直方向の表示位置を調整できます。

V_O_DOT (垂直出力表示期間調整)

出力時の垂直方向の映像信号が始まる位置から、映像が終わる位置までの幅を調整します。

画面のズーム表示(拡大)機能を使ってみる

■画面を拡大表示する

●ズーム・モードを使用する

リモコンのズーム・ボタン、またはXVGA-1PRO本体のZOOMボタンを押すことで、ズームモード(拡大表示モード)を使用することができます。もう一度同じボタンを押すとズーム・モードを終了することができます。

ズームモードでは、画像を拡大することができ、文字やアイコンなどを大きく表示することができます。

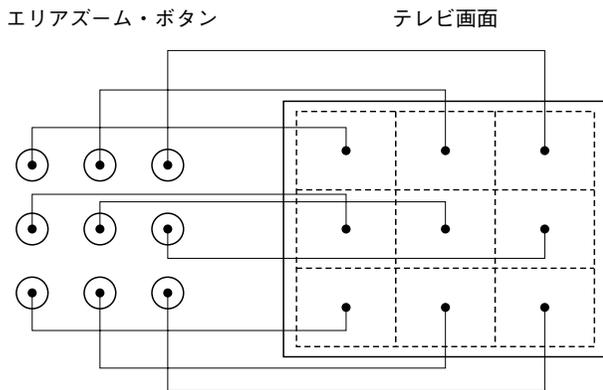
●特定の場所を直感的に拡大表示したい時には…

リモコンには、画面の一部を簡単に拡大表示できるエリアズーム・ボタンが付いています。

このボタンには、9分割されたテレビ画面がそれぞれのボタンに割り当てられています。

たとえば、画面の左下を拡大したいと思った時は、左下のボタンを押すことで拡大表示できます。

エリアズーム・ボタンとテレビの対応は以下のようにになっています。



いつも拡大表示する位置を記憶させる

「いつも拡大表示する部分をボタン1つで簡単に表示できたらいいのに」と思われたことはありませんか？

いつも拡大表示する部分を毎回表示位置と拡大率を合わせるのはとても面倒です。そこで、XVGA-1PROには拡大率と表示位置をリモコンのホーム A～ホーム Cのボタンに登録することができます。

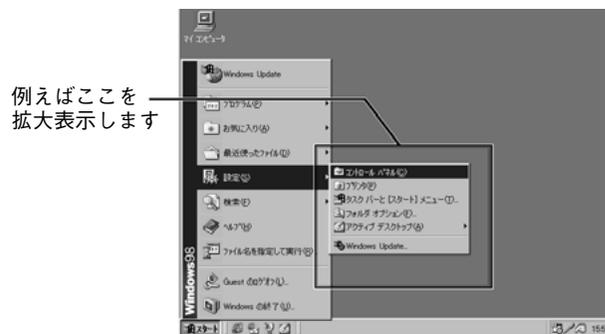
一度登録すれば、後はホーム A～ホーム Cのいずれかのボタンを押すだけで、登録した場所を簡単に拡大表示できます。

ホーム A～ホーム Cの登録は、画面モードごとに設定できます。

登録内容を完全に記憶させるには、スクリーン・メニューの「SAVE」機能を使用して登録を保存してください。

●リモコンのホームボタン(ホーム A、B、C)の登録方法

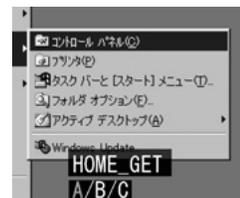
1. 画面を拡大表示し、記憶させたい場所と拡大率を決めます。



2. 画面を拡大表示したままで、リモコンの「ホーム登録」ボタンを押します(※1)。この時、以下の画面が表示されますので、リモコンの「ホーム」ボタンのA～Cのいずれか(登録したいボタン)を押します。

これで登録は終わりです。

※1スクリーン・メニューの「HOME_GET」でも登録可能です。



3. 登録が正しくされているかどうか確認したい時は、一旦拡大表示を終了し、通常画面表示から、リモコンの登録したホームボタン(ホーム A、B、C)を押してみてください。

正しく登録できていれば、登録した場所が拡大表示されます。

ワイドテレビで画面比率を変更する

通常のテレビ放送をワイドテレビやハイビジョン・テレビで表示すると、画面比率が横長になりますが、これと同じ現象は当然XVGA-1PROでも発生します。

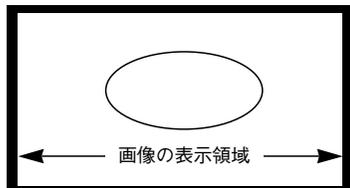
これらの問題を解決するため、XVGA-1PROには「WIDE_TV」機能が付いています。この機能を使用すると、ワイド画面表示の時に、画面比率1:1の映像を表示することが可能になります。

この機能はスクリーン・メニュー(サブ・メニュー)の「WIDE_TV」から設定できます。

また、リモコンの「ワイド」ボタンや、本体の「WIDE」ボタンを押すことで同様に画面比率を変更することができます。

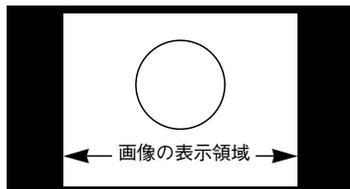
ワイド設定は、画面モードごとに設定可能です。

WIDE_TV設定が「NO」の時の表示



ワイドテレビのワイド表示モードやハイビジョンテレビで全画面表示できる。

WIDE_TV設定が「YES」の時の表示



ワイドテレビのワイド表示モードやハイビジョンテレビでドット比1:1の表示ができる。

画面を静止(ポーズ)させる

XVGA-1PROには、テレビ画面に表示された映像を静止させる機能が付いています。

本体の「PAUSE」ボタンか、リモコンの「ポーズ」ボタンを押すことで、画面を静止させることが可能です。

もう一度同じボタンを押すと、静止を解除することができます。

静止中に画面を拡大表示して見ることも可能です。

スクリーン・メニューを表示すると静止は解除されます。このため、画面を静止している時の表示位置の調整やズーム表示などの操作はリモコンから行ってください。

リモコン受光ユニットの使い方

XVGA-1PROには、本体の前面にリモコンの赤外線信号を読み取る受光部が付いています。

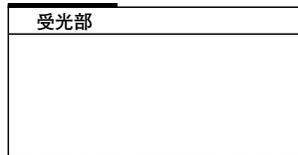
通常の使用では、XVGA-1PRO本体のリモコン受光部で十分リモコンをご使用いただけますが、XVGA-1PRO本体の配置や設置場所の都合により、リモコンの赤外線信号が届かないことがあります。

この様な時、同梱の「リモコン受光ユニット」を赤外線の届きやすい所に取り付けることで、リモコンの信号を読みとることが出来るようになります。

「リモコン受光ユニット」の正しい取り付け方法はP68をご覧ください。

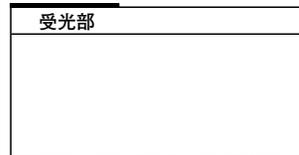
リモコン受光ユニット未使用時

本体の向きによっては、正しく信号を読み取れない



リモコン受光ユニット使用時

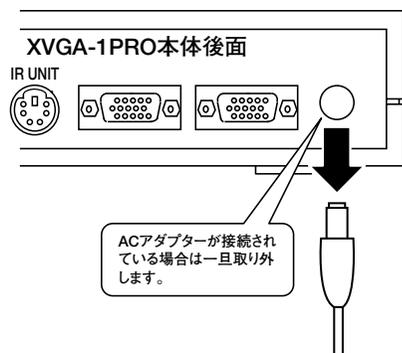
リモコン受光ユニットを使用すれば赤外線の受光範囲を広げることができる。(二つのリモコンで同時に操作することはできません)



●リモコン受光ユニットの取り付け方法

1. 「リモコン受光ユニット」を接続する際は、まずXVGA-1PRO本体から、ACアダプターを取り外し、完全に本体の電源を切ってください。

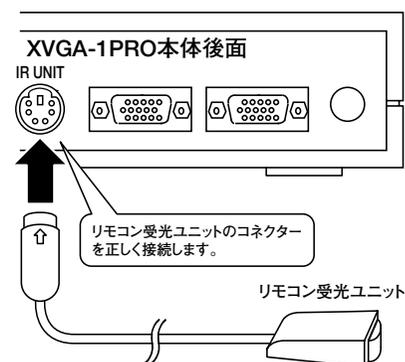
(「リモコン受光ユニット」を取り外す時も、同様にACアダプターを取り外してください)



2. 「リモコン受光ユニット」のコネクターを、端子の向きを正しく合わせゆっくりと差し込みます。

完全に差し込んだら、XVGA-1PROにACアダプターを接続し、電源ボタンを押して、XVGA-1PROの電源をオンにしてください。

これで、「リモコン受光ユニット」は使用可能です。



ご注意

「IR UNIT」端子には待機時 (STANDBY) でも5Vの電源が出力されていますので、スタンバイ状態でコネクターの接続や取り外しを行なうとショートなどを起こして、XVGA-1PROや「リモコン受光ユニット」が故障する恐れがあります。接続の際は十分ご注意ください。

仕様

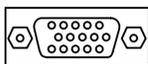
PC入力	15ピン・アナログRGB (HD-SUB) 水平同期周波数24kHz~62kHz (自動選択) RGB信号0.7Vp-p (75Ω) 同期信号TTLレベル (正/負極性V:55Hz~75Hz、H:24kHz~62kHz) H、Vセパレート同期信号 映像帯域幅:最大100MHz
NTSC出力	出力方式 NTSCカラー
	ビデオ (NTSC方式) RCA端子 1 Vp-p (75Ω)
	S (NTSC準拠) 4ピンmini DIN端子 Y信号 1 Vp-p C信号 パースト信号部で0.286Vp-p (75Ω)
VGA出力	コンポーネント (NTSC方式) RCA/D端子 Y信号 1 Vp-p Pb信号 0.7 Vp-p Pr信号 0.7 Vp-p
	15ピン・アナログRGB (VGA) HD-SUB 水平同期周波数31.5kHz (60Hz) RGB信号0.7Vp-p (75Ω) 同期信号TTLレベル (負極性) H、Vセパレート同期信号
	ハイビジョン出力
ハイビジョン出力	コンポーネント (1125/60方式) RCA/D端子 水平同期周波数33.75kHz (60Hz) Y信号 1 Vp-p Pb信号 0.7 Vp-p Pr信号 0.7 Vp-p
スルー出力	スルー (15ピン・アナログRGB) PC入力からのスルー出力
画質	YUV方式使用時: 422方式フルカラー RGB方式使用時: 6万5千色
電源	電圧値=DC+7V 電流値=2.5A 消費電力=最大17.5W
本体寸法	W230mm×D130mm×H39.25mm (ボタン、コネクター、ゴム足を除く)
重量	本体490g電源アダプター200g

XVGA-1 PRO仕様

仕様

PC IN/THROUGH OUT端子仕様

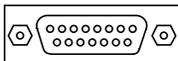
1	R
2	G
3	B
13	Hsync
14	Vsync
9	NC
5,6,7,8,10,11	GND
4,12,15	Through



15ピン・アナログRGB端子
(VGA端子)
HD-SUB 15PIN・3段

PC-9800端子仕様 (PC-9800用スルー出力ケーブル)

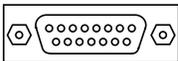
1	R
3	G
5	B
14	Hsync
15	Vsync
7,9,10,11,13	NC
2,4,6,8,12	GND



15ピン・アナログRGB端子
D-SUB 15PIN・2段

Macintosh端子仕様 (Macintosh用スルー出力ケーブル)

2	R
5	G
9	B
11	Vsync
15	Hsync
3,4,7,8,10	NC
1,6,11,13,14	GND

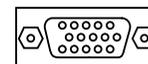


15ピン・アナログRGB端子
(DB-15ビデオポート)
D-SUB 15PIN・2段端子

仕様

RGB OUT端子仕様

1	R
2	G
3	B
13	Hsync
14	Vsync
4,9,11,12,15	NC
5,6,7,8,10	GND



15ピン・アナログRGB端子
(VGA端子)
HD-SUB 15PIN・3段

D OUT端子仕様

1	Y
3	P _B
5	P _R
7,10,13	NC
2,4,6,12	GND
8,9,11	LINE
14	SWITCH



D出力端子
14ピン・ハーフピッチ

特殊なボタン操作

XVGA-1PROは「左(◀)」と「右(▶)」ボタンを押しながら、電源ボタン(POWER)を押すことで、スクリーン・メニューで調整したすべての設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻すことができます。

この機能は、スクリーン・メニュー(サブ・メニュー)の「RESET」と同じ機能です。

特殊なボタン操作：

「◀」+「▶」+「POWER」=工場出荷時の設定に初期化

トラブル対処法もくじ

製品には万全を期しておりますが、万一トラブルがございましたら、次のチェックをしてください。対処法などに関しては、下記のページをご覧ください。

トラブル内容	ページ
パソコンにXVGA-1PROを接続する端子が見つからない	74
テレビにパソコンの画面が表示されない	74
ノート型のパソコンで画面が表示されない	74
テレビに表示されたパソコンの画面が乱れる	75
XVGA-1PROのスルー出力端子にパソコン専用ディスプレイを接続すると、映像の鮮明度が損なわれる	75
画面の上下左右の端が欠けたり、文字が崩れたりする	75
MATCH機能が正しく動作しない	75
画面が異常に暗くなったり、異常に明るくなったりする	75
デジタル方式の液晶ディスプレイ端子と、アナログRGB端子を両方持つ機種で使用すると、デジタル方式の液晶ディスプレイが映らなくなる	75
文字がつぶれて読めない	76
ハイビジョンテレビに接続しているのに画質がSやビデオと変わらない	76
ハイビジョンテレビの「Y,CB,CR」と書かれた端子に接続すると映像が正しく表示されない	76
「画面表示」で入力画面と異なる画面サイズが表示される	77
パソコン専用ディスプレイで見た時と、色合いや画面比率が異なる	77
画面に縦縞(モアレ)や、網目状の模様が表示されることがある	77
テレビに表示された映像が、不規則に上下に揺れる(振動する)	77
動画映像を再生したり、ゲームなどで、画面がなめらかにスクロール(移動)するシーンを表示すると、テレビ画面でコマ飛びや、がたつきが発生する	77
NEC PC-9801,PC-9821(15ピンD-SUB[2段端子])で、スルー出力端子(THROUGH OUT)に接続したパソコン専用ディスプレイに映像が表示されない	77
Macintosh PowerBookのPCM CIAスロットに接続しているビデオカードで映像を正しく表示できない	78
Macintoshシリーズで画面をテレビに表示できない	78
Power Macintosh 6000,7000,8000,9000各シリーズ、及びPowerBook5300の画面をテレビに表示できない	78
Macintosh PowerBook5300の画面をテレビに表示できない。画面全体が灰色に表示される	78
PowerMacintosh(DB-15ポートを持つ機種)でスルー出力端子(THROUGH OUT)に接続したパソコン専用ディスプレイに映像が表示されない	78
HD入力端子付きの4:3仕様のテレビで正しく表示できない	79
D入力端子付きの4:3仕様のテレビで正しく表示できない	79
修理のご依頼方法(ユーザーサポートからのお願い)	80

トラブルの対処法

製品には万全を期しておりますが、万一トラブルがございましたら、次のチェックをしてください。

XVGA-1PROを接続する端子が見つからない。

- アナログRGB出力端子を持たないパソコンには接続できません。お客様のパソコンにアナログRGB出力端子(映像出力端子)があることをご確認ください。ディスプレイ一体型のデスクトップ・パソコンや、デジタル方式の液晶ディスプレイが接続されている機種などでは、アナログRGBの映像出力端子を持たないことがあります。
- ノートパソコンでは、本体にアナログRGB端子が無くても、アダプター(ポートリプリケーター)などでRGB映像を出力できることがあります。
- パソコンのデジタル液晶ディスプレイ用端子であるDVI端子やDFP端子には接続できません。

テレビにパソコンの画面が表示されない

- 接続は正しいですか?
- XVGA-1PROの電源ボタン(POWER)を押して電源を入れましたか? XVGA-1PROはACアダプターを接続した時点では、待機状態(スタンバイ)になっています。
- 電源ランプ(緑色)は点灯していますか?
- テレビの電源はオンになっていますか?
- テレビやビデオデッキのチャンネルは合っていますか? テレビやビデオデッキのチャンネルは外部入力に設定してください。
- パソコンとXVGA-1PROの接続には、本製品に付属の15ピン・アナログRGBケーブルを使用していますか?
- XVGA-1PRO本体の入力確認ランプ(INPUT)は点灯していますか? 入力確認ランプが点灯していない時は、パソコンからの映像が正しく入力されていない可能性があります。

ノート型のパソコンで画面が表示されない

- ノート型パソコンは、接続しただけでは映像を表示(出力)できないことがあります。(機種によって映るものもあります)
- これは、ノート・パソコン側が映像を出力していないためです。これらの機種では「液晶」に画面を表示するか、「外部のディスプレイ(ここではXVGA-1PROのこと)」に画面を表示するかの切り替えが必要です。画面の切り替え方法は「パソコン側のキーボードの複数のキーを同時に押す」、「パソコンの起動時にケーブルが繋がっているかどうか自動で認識する」、「Windowsのコントロールパネルの[画面]のプロパティで設定する」など、パソコンの機種によって異なります。映像の出力方法についてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

トラブルの対処法

テレビに表示されたパソコンの画面が乱れる

- 対応機種以外のパソコンを接続していませんか？
- パソコン側の画面モードは対応していますか？
水平同期周波数15kHzの画面モードや、SXGA (1280×1024ドット)などの画面モードには対応していません。
- パソコン用ディスプレイとテレビが近づきすぎていませんか？
- XVGA-1PROの本体前面にあるスイッチ「TV SW」の設定は正しいですか？

XVGA-1PROのスルー出力端子にパソコン専用ディスプレイを接続すると、映像の鮮明度が損なわれる。

- 本機のスルー出力映像は、パソコンに直接ディスプレイを接続した時よりも若干鮮明度が低下します。ご了承ください。

画面の上下左右の端が欠けたり、文字が崩れたりする。

- MATCH機能などを使用して、画面調整を行ってください。

MATCH機能が正しく動作しない。

- 対応していない画面モードや画面サイズ、対応していないパソコンや、同期周波数の映像を入力すると、正しく調整できないことがあります。
- パソコン画面に表示されている画像の状態により、正しく自動調整できないことがあります。

画面が異常に暗くなったり、異常に明るくなったりする。

- パソコンから出力されるRGB映像を、RGB映像切り替え機やRGB映像分配機を介してXVGA-1PROに入力すると接続したテレビやディスプレイでこのような症状が発生することがあります。
また、XVGA-1PROのスルー出力端子(THROUGH OUT)にRGB映像切り替え機やRGB映像分配機を接続すると同様の症状が発生します。
このような接続はお奨めできません。

デジタル方式の液晶ディスプレイ端子と、アナログRGB端子を両方持つ機種で使用すると、デジタル方式の液晶ディスプレイが映らなくなる。

- デジタル液晶ディスプレイ端子(DFP端子など)とアナログRGB端子の両方の端子を持つ機種では、これらの端子を同時に使用できない機種があります。これはパソコン側の仕様であり、このような機種では、デジタル液晶ディスプレイとXVGA-1PROの映像を同時に表示する事ができません。(FUJITSU FMV Cシリーズなど)。

トラブルの対処法

文字がつぶれて読めない

- MATCH機能を使用し、画面の調整を行ってください。
- 通常のテレビに接続した場合(ビデオ端子やS端子での接続)で、パソコン側が1024×768ドットの画面モードなどの時、漢字や半角の文字などが読みづらくなります。こういった場合は、パソコン側の、システムの文字サイズなどを大きくして対処するなどの工夫が必要です。
- ビデオ端子(コンポジット)で接続した際の画質は、単純にテレビの性能に左右されます。より鮮明な画像で見るとするにはSビデオ端子などで接続することをおすすめします。
- プロジェクション・テレビやビデオ・プロジェクターなどで使用すると、ブラウン管方式のテレビに比べ、著しく鮮明度が低下します。これは、プロジェクションテレビやビデオ・プロジェクターの鮮明度が低いために起こる症状であり、本製品の不良や故障ではありません。
- プログレッシブ表示対応テレビやDRC表示対応テレビにビデオケーブルやSケーブルで接続すると、本来の鮮明度を得られなかったり、画像の細部がうまく表示されないことがあります。

ハイビジョンテレビに接続しているのに画質がSやビデオと変わらない。

- XVGA-1PRO本体前面のスイッチ「TV SW」の設定が「HD」になっているか確認してください。
このスイッチがNTSCになっていると、映像がNTSCレベルのコンポーネント・ビデオで出力されるため画質がNTSCと同等になってしまいます。ハイビジョン・テレビの鮮明度を最大限に活用するには、「TV SW」を「HD」に設定してください。
- ハイビジョンテレビであっても、D3端子またはコンポーネントのHD入力端子(外部MUSE・デコーダーの映像を色差信号で入力する端子)が無い機種では、ハイビジョンの画質で映像を映すことができません。HD入力端子(Y、Pb/Cb、Pr/Crまたは、Y、Pb、Pr)やD3端子の無いハイビジョンテレビでは、ビデオ端子やS端子で接続することになります。このようなハイビジョン・テレビではハイビジョンの鮮明度で映像を表示できないため、NTSCの画質でご覧いただくこととなります。

ハイビジョンテレビの「Y、Cb、Cr」と書かれた端子に接続すると映像が正しく表示されない。

- 本機のコンポーネント出力端子(Y、Pb/Cb、Pr/Cr)から出力される映像信号は、「Y、Pb/Cb、Pr/Cr」または「Y、Pb、Pr」の映像入力端子を持つテレビに接続可能です。「Y、Cb、Cr」としか表記されていない端子は映像信号の仕様が異なるため接続しても映像を正しく表示できません。

トラブルの対処法

「画面表示」で入力画面と異なる画面サイズが表示される。

●XVGA-IPROは、入力された画面モードを水平同期周波数と垂直同期周波数(リフレッシュレート)で識別しています。このため、画面サイズが違って、同じ水平同期周波数と垂直同期周波数が使用されていると、「画面表示」で本来とは異なる画面サイズが表示される事があります。例えば、640×400ドットの画面で水平同期周波数31kHz、垂直同期周波数60Hzの映像が入力された時は、640×480ドットの画面モードと区別できないので画面表示は「640×480」ドットと表示されます。

パソコン専用ディスプレイで見た時と、色合いや画面比率が異なる。

●XVGA-IPROは、パソコンを使用したプレゼンテーションやデモンストレーション等には向いていますが、色合いや画面比率の違いから、テレビに映った画面を見ながらの画像データの作成(CG)やCAD設計には適しておりません。

画面に縦縞(モアレ)や、網目状の模様が表示されることがある

●画面に縦縞(モアレ)が発生した時は、スクリーン・メニューの「MATCH」や「DTC」機能を調整してみてください。ただし、画面モードやパソコンの機種によっては、この症状を改善できません。

動画映像を再生したり、ゲームなどで、画面がなめらかにスクロール(移動)するシーンを表示すると、テレビ画面でコマ飛びや、がたつきが発生する。

●この症状は、本機の特徴であり、改善することはできません。

テレビに表示された映像が、不規則に上下に揺れる(振動する)

●スクリーン・メニューのSKEW機能の調整によって、このような症状が発生することがあります。

SKEWの設定値を、画面の揺れない位置に調整してください。

NEC PC-9801、PC-9821(15ピンD-SUB[2段端子])で、スルー出力端子(THROUGH OUT)に接続したパソコン専用ディスプレイに映像が表示されない。

●スルー出力端子(THROUGH OUT)にディスプレイを接続する際、Macintosh用のスルー出力ケーブルを間違えて使用していませんか? PC-9800用スルー出力ケーブルには、「PC-9800 DISPLAY」というシールが貼られています。

トラブルの対処法

Macintosh PowerBookのPCM CIAスロットに接続しているビデオカードで映像を正しく表示できない。

●PCM CIAスロットに接続するビデオカードでは正しく動作しないことがあります。

Macintoshシリーズで画面をテレビに表示できない。

●機器を接続した後に、パソコンの電源をオンにしましたか?

接続ケーブルなどを取り外した状態で、パソコンの電源をオンすると映像を出力しない機種がありますので注意が必要です。

●接続している機種はPowerMacintoshですか?

PowerMacintoshよりも旧型の機種、Macintosh、Macintosh IIの中には特殊な映像信号を出力する機種があり、それらの機種には対応できない可能性があります。

Power Macintosh 6000、7000、8000、9000各シリーズ、及びPowerBook5300の画面をテレビに表示できない。

●Macintosh用変換アダプターのデップスイッチ設定は正しいですか?

Macintosh PowerBook5300の画面をテレビに表示できない。画面全体が灰色に表示される。

●画面のミラーリングは正しく設定されていますか?

PowerMacintosh(DB-15ポートを持つ機種)でスルー出力端子(THROUGH OUT)に接続したパソコン専用ディスプレイに映像が表示されない。

●スルー出力端子(THROUGH OUT)にディスプレイを接続する際、PC-9800用のスルー出力ケーブルを間違えて使用していませんか?

APPLE Macintosh用スルー出力ケーブルには、「MAC DISPLAY」というシールが貼られています。

トラブルの対処法

HD入力端子付きの4:3仕様のテレビで正しく表示できない

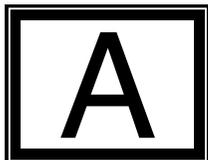
● 画面比率4:3のHD入力端子付きテレビにコンポーネント接続ケーブル(Y,PB/CB,PR/CR)で接続すると、パソコン画面が「画面2」または「画面3」の様に表示されてしまうことがあります。ハイビジョン画面は、基本的にワイド(16:9)なので、この様な表示になります。ご了承下さい。

※ テレビの機種やメーカーによっては、テレビ側の設定を変更することで16:9画面を「画面1」の様に4:3画面で全画面表示できることがあります。

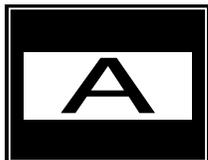
D入力端子付きの4:3仕様のテレビで正しく表示できない

● 画面比率4:3のD入力端子付きテレビにD接続ケーブルで接続すると、パソコン画面は「画面2」または「画面3」の様に表示されることがあります。この様な時は、スクリーン・メニューのWIDE_TV設定を「OFF」に設定した後、TV_TYPEの設定を「4:3」に設定してください。テレビ側がD端子の識別信号を自動認識し「画面1」の様に全画面表示することができます。しかし、TV_TYPE機能はすべてのD入力に対応した4:3のテレビで使用できるとは限りません。D端子の識別信号に対応していないテレビでは、「画面2」または「画面3」の様に表示されます。

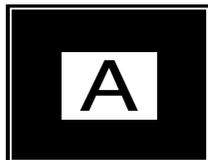
画面1



画面2



画面3



これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」までお送りください。

保証規定にそって無料で修理いたします。なお、保証期間を過ぎてからの修理や、保証期間内であっても故障の原因が、お客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

ユーザー・サポートからのお願い

修理依頼などで、製品をお送りになる際は、本体にすべての付属品を同梱してお送りください。(「本体」「電源アダプター」「保証書」は必ずお送りください。)

特に電源アダプターが同梱されていないと、電源アダプター側が故障していた時、症状を確認できません。

また、お送りいただく際は、お手数でも保証書等に「症状」と「接続している機器(ご使用のパソコンのメーカーと機種など)」を必ずご記入ください。

あらかじめ、お電話などでご連絡をいただいた場合も、症状は必ずご記入ください。

〈販売に関するお問い合わせ先〉

発売元：電波新聞社 販売部

〒141-8715東京都品川区東五反田1-11-15

TEL 03-3445-8201 (ダイヤルイン)

〈製品内容に関するお問い合わせ先〉

企画開発：マイコンソフト株式会社

〒530-0005大阪市北区中之島3-2-4

朝日新聞ビル6F 電波新聞社大阪本社内

TEL 06-6203-2827